

取扱説明書

保証書別添

7000 シリーズ

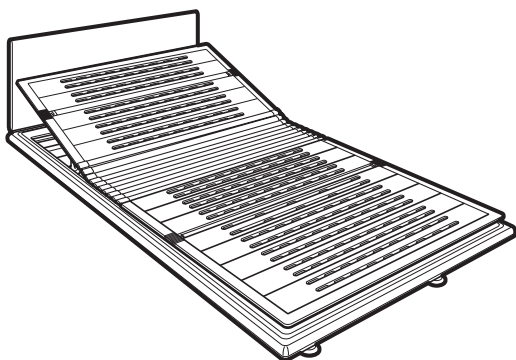
RW-7400F RW-7400W RW-7400B
RS-7400F RS-7400W RS-7400B
RW-7411Y RW-7421R
RS-7411Y RS-7421R

INTIME

INTIME

INTIME

7000



このたびは、**INTIME7000** シリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ございました。

この「取扱説明書」には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項、組立方法や使用方法などを記載しています。

- ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源・電圧が異なるため使用できません。

	ページ
1 使用目的・特長	2
2 各部の名称	3
3 安全に使用するための注意事項	4
4 リモコンについて	
1.各部の説明	17
2.リモコンの使いかた	19
3.使用範囲	20
4.各機能の設定方法	21
5.電池の交換方法	25
5 受信機について	26
6 動作の説明	28
7 オプション取付穴の使用方法（木製フレーム・木製ボード）	31
8 ユニットの組合せ	32
9 設置について	32
10 部品の確認	34
11 ベッドの組立方法	
1.台車の設置	39
2.駆動部の取付け	40
3.電源コードの確認	44
4.リモコンのID設定	45
5.キューマボトムを取付け	48
6.背ボトムを取付け	49
7.膝・足ボトムを取付け	51
8.マットレス止めの取付け	55
9.リモコンホルダーの取付け	57

	ページ
10. フレームとボードの取付け(アルミフレーム・クッションボード)...	58
11. フレームとボードの取付け(木製フレーム・木製ボード).....	61
12 組立て後の点検	63
13 適合オプションについて	68
14 マットレス(別売)の使用方法とご注意	70
15 日常のお手入れ	71
16 故障かな?と思ったら	72
17 長期間使用しない場合と移動(移設)について	74
18 仕様	75
19 アフターサービスについて	77

使用目的・特長

■ INTIME7000 シリーズは、ご家庭でのライフスタイルに合わせて多目的にご利用いただくために作られたベッドです。ベッドには、次のような特長があります。

1. 電動でお好みのベッドポジションが調節可能

●ベッドの頭・背・足の角度調節と高さ調節が可能です。(※動作詳細は 28 ~ 29 ページ参照)

2. メモリー機能搭載

●お好みのベッドポジションを記憶させると、簡単なスイッチ操作でお好みのベッドポジションまで動作します。

3. 液晶付リモコン

●明るく見やすい液晶付のリモコンなので操作が容易です。

4. オプション取付穴

●ベッドサイドレール(別売)やスイングアーム介助バー(別売)が取付けられます。
(木製フレーム・木製ボード機種のみ)

5. 伸びてやさしく曲がるキューマラインを採用

●背をあげたときの腹部の圧迫を軽減し、快適な背あげを行います。

6. KIND モーション搭載

●背あげ・さげ時の圧迫感やずれを大幅に軽減し、より良い姿勢を保つことができます。
(※動作詳細は 30 ページ参照)

7. 自社開発の電装品

●静粛性に優れたリニアアクチュエーターを採用しているため、ベッドの電動動作音が静かです。

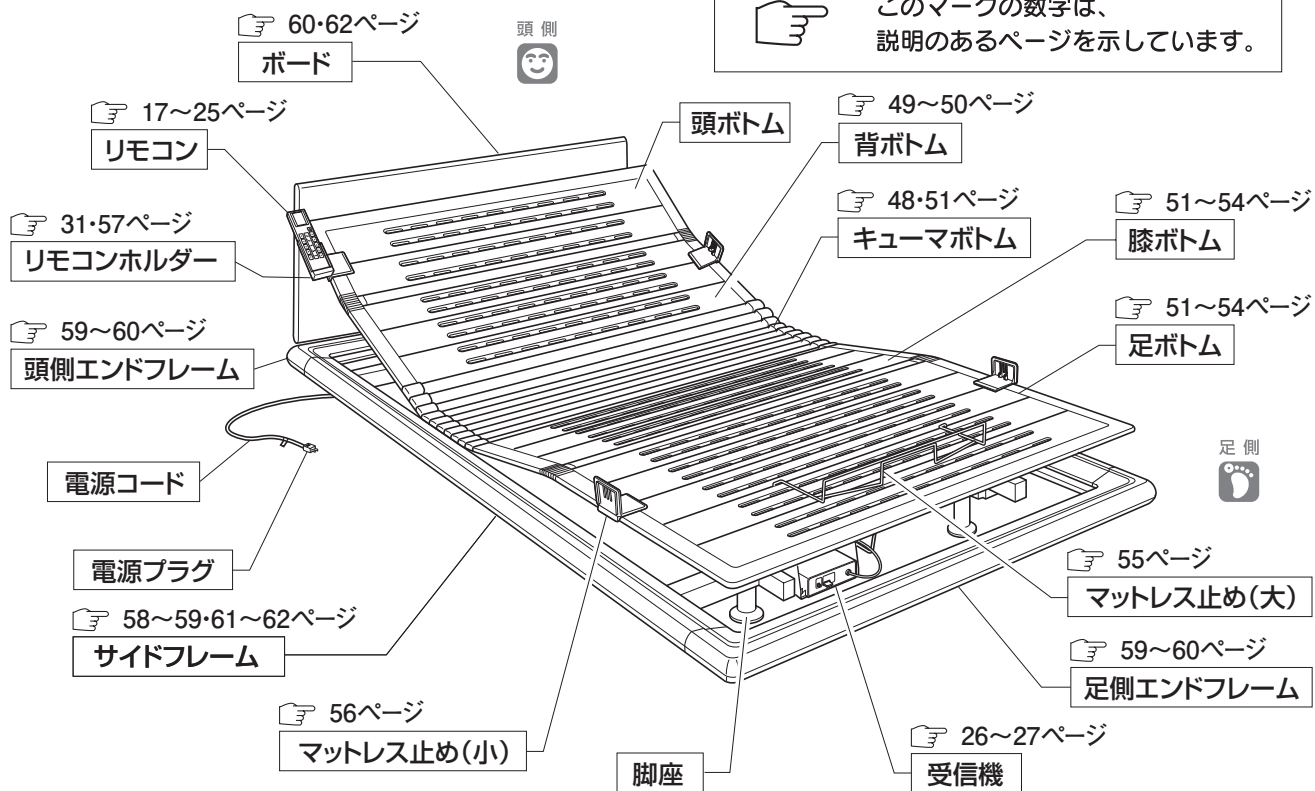
2 各部の名称

アルミフレーム・クッションボード

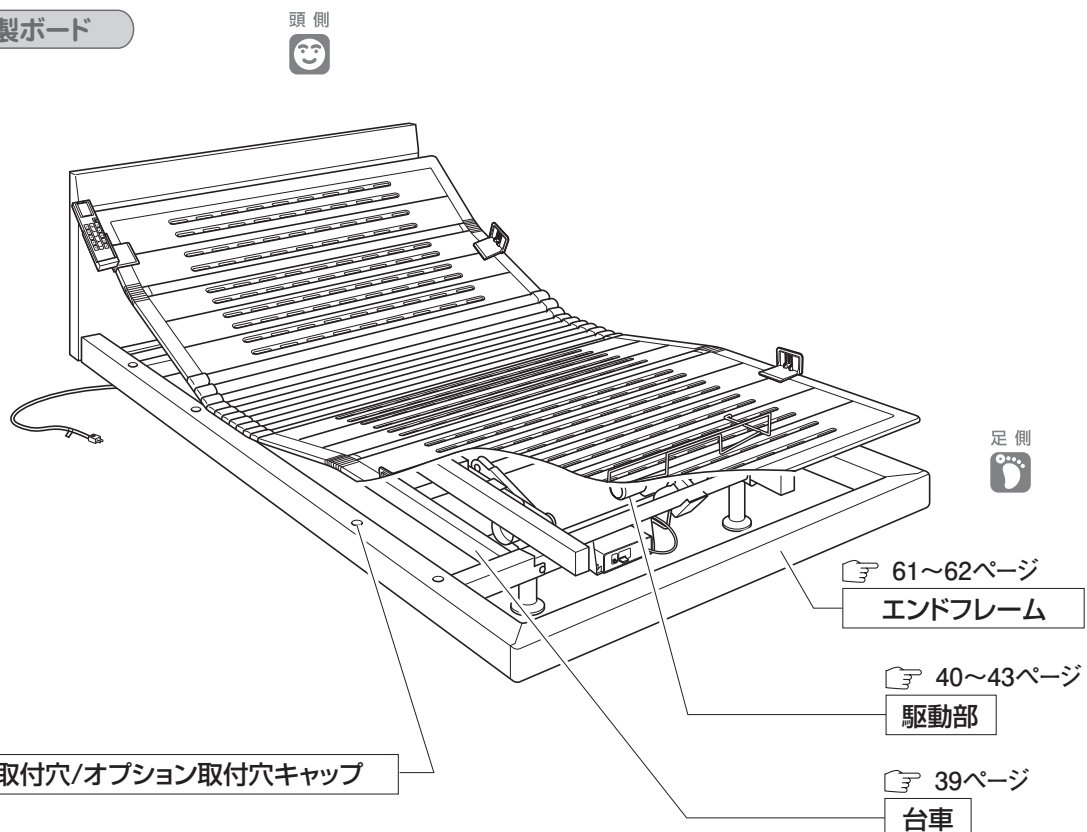
※アルミフレーム・クッションボード機種、木製フレーム・木製ボード機種共に共通部の名称はどちらか一方に記載しています。



このマークの数字は、説明のあるページを示しています。



木製フレーム・木製ボード





3 安全に使用するための注意事項

おことわり

- このページ以降、本文中に記載の名称を一部以下のように略しております。
 - ・ベッドサイドレール → サイドレール
 - ・スイングアーム介助バー → 介助バー

■必ずご使用の前にこの「安全に使用するための注意事項」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

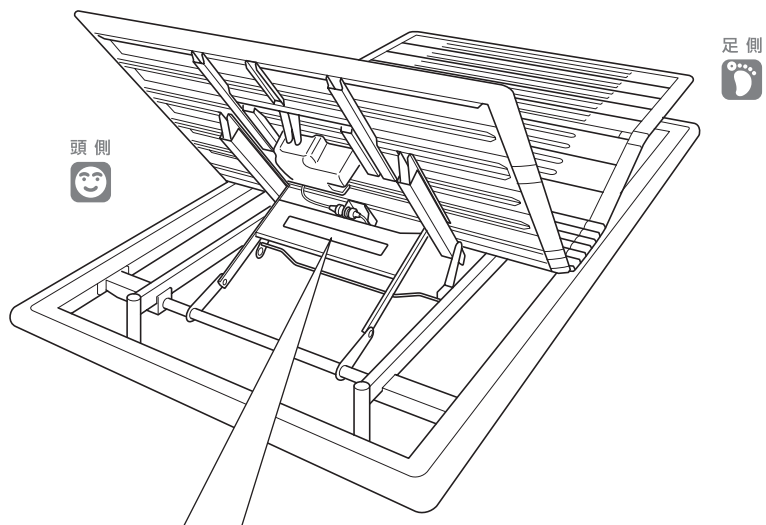
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「△警告」と「△注意」の二つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。




 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺など）を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
<p>★『安全に使用するための注意事項』などに記載の項目で、特に【すき間に関する注意】は、生命にかかわる重大な事故につながる可能性のある重要な項目です。本取扱説明書とあわせ、製品に別添の『すき間および電装品についての注意事項』を必ずお読みいただき、正しく安全にお使いください。なお、特に予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。</p>	

※取扱説明書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

安全ラベルについて

- 注意事項の中で、ベッドをお使いになる方に特に注意していただきたい項目をラベルにして図の位置に貼ってあります。はがしたり傷つけたりしないでください。
- 安全ラベルが傷ついたり、はがれてしまった場合には販売店から新しい安全ラベルを取り寄せ、貼り直してください。



 警告 ベッドの下に入らないでください。身体の一部はさまれ、けがをすることがあります。（ベッドの下を掃除する際は、必ず電源プラグを抜いてください）	各部を操作する際は、手指をはさまないように注意してください。はさまれてけがをすることがあります。	 注意 足先をベッドの下に入れないでください。はさまれてけがをすることがあります。	 警告 頭上げ・背上げ・足上げ状態でポトムに置けないでください。ポトムが水平でない場合に過大な負荷をかけることで、ベッドが破損するおそれがあります。
最大使用者体重：135kg ●ベッド・オプションを正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。			

3 安全に使用するための注意事項



■ベッドに直接取付けて使用するサイドレール・介助バー・マットレスなどは弊社が指定する適合品をご使用ください

- 指定以外の製品や他社製品と組合せると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたり、ベッドが故障するおそれがあります。

■すき間に注意してください

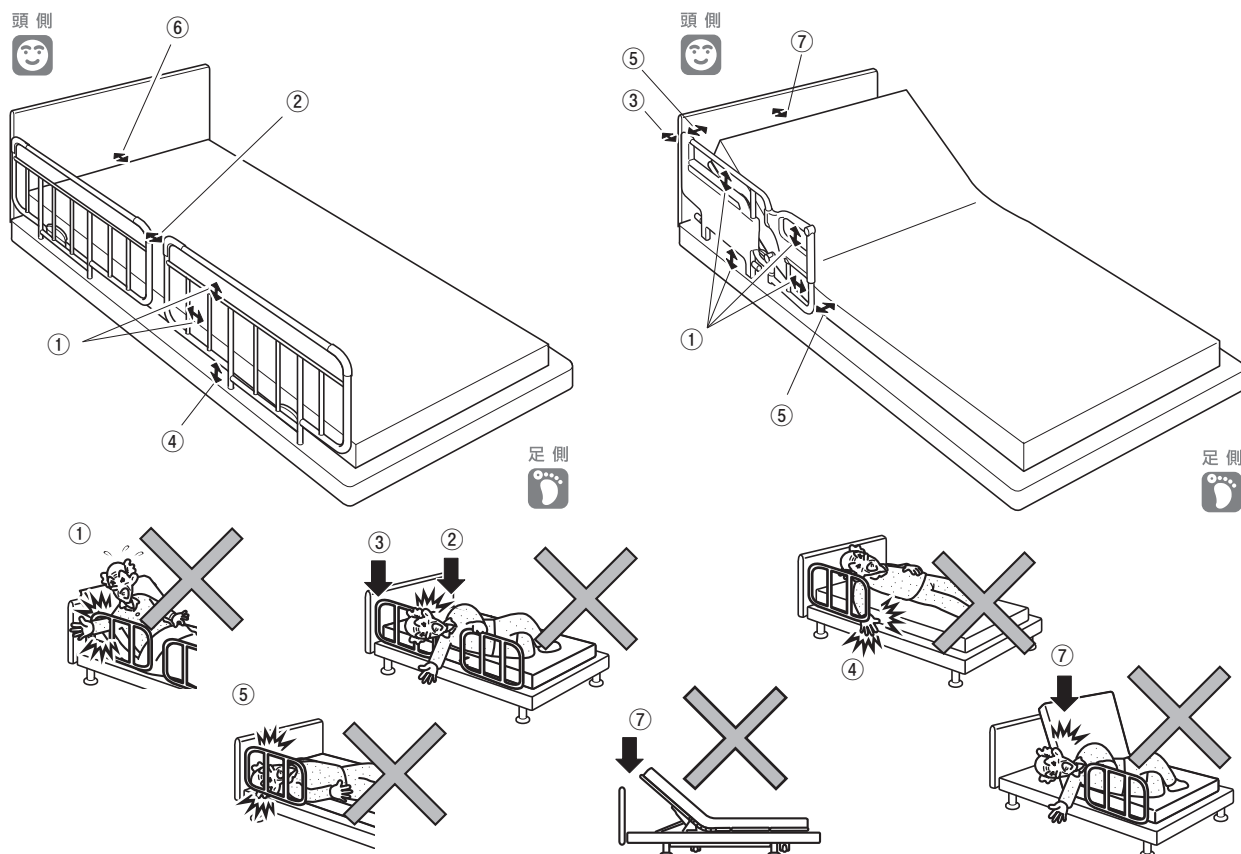
- ベッドやサイドレール・介助バーなどにはすき間があります。また、サイドレールや介助バーなどを組合せるとすき間ができます。これらのすき間に身体の一部（特に頭や首など）がはさまれて、けがをするおそれがあります。

下記の項目に注意してください。

- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

- | | |
|-------------------------------|---|
| ①サイドレールなどの内部のすき間 | ⑥ボードとマットレスのすき間 |
| ②2本のサイドレールなどの間のすき間 | ⑦あがっているボトムとボード・サイドレールなどのすき間
(サイドレール・介助バーに関するすき間は、木製フレーム・木製ボード機種のみ) |
| ③サイドレールなどとボードのすき間 | |
| ④サイドレールなどとボトム・マットレスのすき間(高さ方向) | |
| ⑤サイドレールなどとボトム・マットレスのすき間(幅方向) | |

※図は一例です。



警告

■身体の一部がすき間に入った状態で、ベッドの操作をしないでください

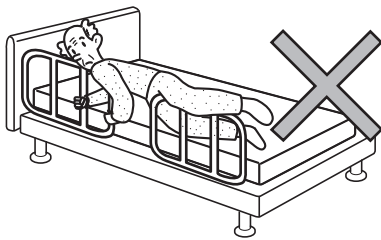


- すき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとられる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

■ベッドと壁や周りのものとのすき間にはさまれないように注意してください

- 身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとられる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

■サイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください（木製フレーム・木製ボード機種のみ）

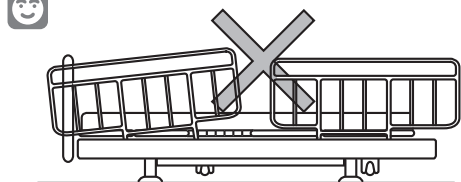


- サイドレールとサイドレール、ボードとサイドレールのすき間から転落し、けがをするおそれがあります。
- サイドレールの上から身を乗り出して転落し、けがをするおそれがあります。
- ベッドの背をあげた状態で使用される場合、転落予防としての効果を十分に発揮できないおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとられる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

3 安全に使用するための注意事項

警告

■ サイドレール・介助バーなどを取付ける際は、正しい向きで取付けてください（木製フレーム・木製ボード機種のみ）



- ベッドから転落したり、意図せぬすき間が発生して、身体の一部がはさまれてけがをするおそれがあります。
- 誤った向きでは確実に差込むことができず、サイドレール・介助バーなどが不意に外れるなどして、けがをするおそれがあります。正しい向きでの取付けかたについては、各オプションの「取扱説明書」を参照してください。ただし、足側にサイドレールを取付ける際は、足側にボードがないため、サイドレールのラベルの矢印の向きが足側を向くように取付けてください。
- 誤った向きでは、ベッドの頭側・足側から大きくとび出る場合があります、けがをするおそれがあります。

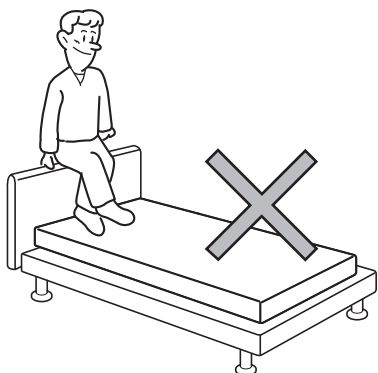
■ サイドレール・介助バーなどを取付ける際は、オプション取付穴に異物が入っていないことを確認してください（木製フレーム・木製ボード機種のみ）

- 異物が入っていると確実に取付けることができず、ベッドから転落したり、意図せぬすき間が発生して、身体の一部がはさまれてけがをするおそれがあります。

■ オプションや突起物に衣類などが絡まないように注意してください

- 衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、衣類などが引っ張られるなどして、けがをするおそれがあります。
- ベッドの乗り降りなどの際に転倒して、けがをするおそれがあります。

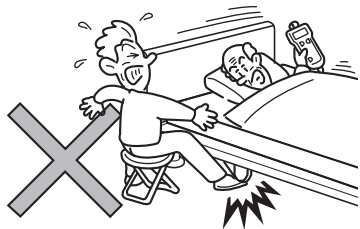
■ サイドレール・介助バーやボードなどに腰掛けたりしないでください



- ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドやサイドレール・介助バーなどが破損・変形して、けがをするおそれがあります。

警告

■台車に足をかけないでください



- 台車に足をかけたり、足先を入れたりしないでください。はさまれてけがをするおそれがあります。

■ボトム角度やベッドの高さを調節する際は、ベッドをご使用の方の状態に注意してください

- ベッドをご使用の方がボトム角度やベッドの高さ調節中に動くと、ベッドから転落したり、すき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に体位を自分で保持できない方は、身体を支えながら操作してください。

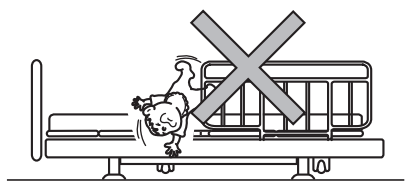
■ベッドから離れたり、ベッドをご使用の方から一時的に目を離す際は、ボトム角度やベッドの高さに注意してください

- ベッドをご使用の方から一時的に目を離す際は、万一のベッドからの転落に備え、ご使用の方の状況に応じて、ボトムの角度を水平に、ベッドの高さを一番低い位置にしてください。

■あがった状態の背ボトムや頭ボトムを手すり代わりにしないでください

- つかまったり、立ちあがり時などに支えとして使用すると、背ボトムや頭ボトムが倒れ、転倒してけがをするおそれがあります。

■乳幼児やお子様には使用しないでください



- 本製品は乳幼児やお子様向けには設計されていません。サイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
- サイドレールを使用してもすき間から転落して、けがをするおそれがあります。

■ベッドは正しい向きで使用してください

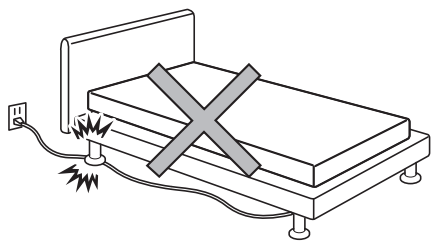


- ベッドの頭側、足側を間違えて寝たまま背あげ・膝あげ動作を行ったり、背あげした状態のベッドに頭側、足側を間違えて寝ると無理な姿勢となり、けがをするおそれがあります。

3 安全に使用するための注意事項



■コード類（電源コードなど）を傷つけないでください



- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
 - ベッドの可動部でコード類をはさまないようにしてください。
 - コード類に重いものを置いたり無理な力を加えないようにしてください。
 - ベッドでコード類を踏みつけないでください。
- 傷んだコード類は修理（交換）を依頼してください。

■電源コードに足を引っ掛けないようにしてください

- プラグやコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 転倒して、けがをするおそれがあります。

■ベッドやその他の電気機器のコード類（電源コードなど）をベッドの下に通さないでください

- 脚座やキャスター、可動部などにはさまれてコード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。

■電子治療器を使用するときは電源プラグを抜いてください

- 電子治療器（マイクロ波治療器、超短波治療器など）を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤動作の原因となります。
- なお、他の ME 機器と併用する際は、安全をご確認の上ご使用ください。

■電源プラグに無理な力を加えないでください

- 電源プラグが破損し、感電・火災のおそれがあります。

■電源プラグを抜く際は、電源プラグを持って抜いてください

- 電源コードのみを持って引き抜くとコードが傷んで、感電・火災のおそれがあります。

■お手入れは電源プラグを抜いて行ってください

- 誤操作によりベッドが動作し、けがをするおそれがあります。

■タコ足配線は行わないでください

- コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。



■ベッドは定期的に点検してください

- 使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。思わぬけがをするおそれがあります。

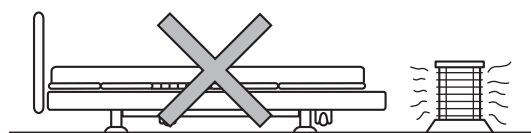
■被災したベッドは点検・修理を依頼してください

- 地震・火災・水害などで被災したベッドは、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンター（78ページ参照）まで、点検・修理をご依頼ください。電装品のショートや漏電による感電・火災やベッドの変形による動作の異常によって、けがをするおそれがあります。

■ベッドをご使用の方の容態にあわせて使用し、治療中の方は医師に相談をしてください

- ご使用の方の容態によっては、ベッドの操作で容態を悪化させる可能性があります。
- 現在治療中の方は、ベッドの操作で容態を悪化させる可能性があります。ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。

■火気に近づけないでください



- ベッドの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・火災などの原因となります。

■取外したオプション取付穴キャップは乳幼児やお子様や認知症の方の手の届かない場所に保管してください（木製フレーム・木製ボード機種のみ）

- 誤飲や思わぬけがの原因となります。

■角度制限機能設定なしのときは、背ボトムと膝ボトムとの間で圧迫しないよう注意してください

- 圧迫により、けがをするおそれがあります。介護を要する方がベッドをご使用の場合は角度制限機能を設定してください。（23ページ参照）

3 安全に使用するための注意事項



■操作が理解できないと思われる方（12歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください

- 操作が理解できないと思われる方が1人でリモコンを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをすることがあります。1人でリモコンに触れる可能性がある場合には、リモコンの電池を抜く、電源プラグを抜く、もしくは、ベッド本体にある受信設定スイッチで受信拒否に設定し（27ページ参照）、誤操作による事故を未然に防いでください。

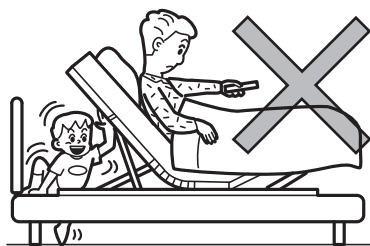
■ベッド操作をするときは、安全を確認してから行ってください

- ベッド本体が見えない場所でリモコン操作を行うと、ベッドの周辺にいる人が、動作したボトムとフレームとの間にはさまれて、けがをすることがあります。ベッドの動作を目視できる場所で、安全を確認してから操作してください。

■植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などを装着されている場合は、植込み部からリモコンを22cm以上離してご使用ください

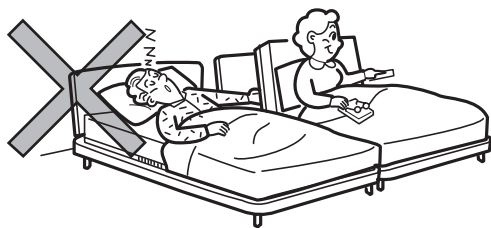
- 電波により機器の作動に影響を与える場合があります。

■ベッドの下に潜り込んだり、頭や手・足などを入れないでください



- ベッドの可動部分とフレームなどとの間にはさまれて、けがをすることがあります。リモコン操作は、ベッドの下および周りに障害物がないことを確認して行ってください。

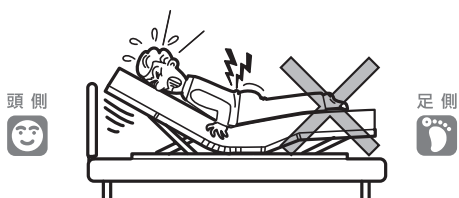
■ベッドのフレームとボトムの間などに手（指）や足などを入れないでください



- はさまれてけがをすることがあります。
 - 電動操作中は、さがってきたボトムとベッドのフレームやボードなど間にはさまれて、けがをすることがあります。
 - 2台のベッドを並べて使用する場合は、隣のベッドの動作にはご注意ください。

警告

■うつ伏せや横向き（仰向け以外）で寝た状態での角度調節は行わないでください



- 関節を逆に曲げることになり、けがをするおそれがあります。

■踏み台がわりにしないでください

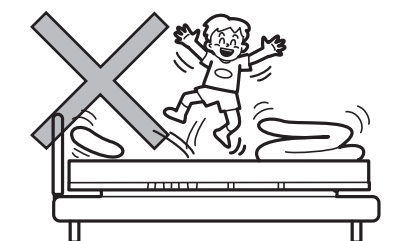


- ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドが故障するおそれがあります。

■掃除などベッドの下に入る際は電源プラグを抜いてください

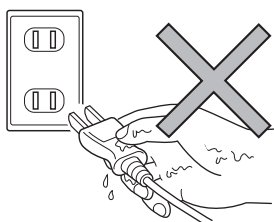
- 誤操作によりフレームなどにはさまれて、けがをするおそれがあります。

■ベッドの上で飛び跳ねないでください



- ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドが故障するおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

■電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください



- ショートして感電したり故障するおそれがあります。

3 安全に使用するための注意事項



■電源プラグにほこりを付着させないでください



- 電源プラグの表面にほこりが付着していると水分を含んで電流が流れ、ショートなどにより、感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグの表面にほこりが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。

■お客様による修理・改造はしないでください

- 意図せぬすき間の発生や異常動作などにより、けがをするおそれがあります。

■水などをこぼさないでください



- アクチュエーターやリモコンなどの電装品に、水などをこぼさないでください。ショートして感電したり、故障の原因となります。特にリモコンは、水などの近くに置かないようご注意ください。誤ってこぼしてしまった場合には、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはパラテクノロジーセンター（78 ページ参照）までご連絡ください。

■電池の破裂・ショート・液漏れなどは、火災・事故の原因となりますので、次のことを守ってください

- 充電（充電式電池をのぞく）・加熱・分解はしないでください。
- 火気や水の中には入れないでください。
- ＋の向きを表示通りに入れてください。
- 電池の有効期限を確認してください。
※有効期限のすぎた電池は新しい電池と交換してください。
- 液が漏れたときはすぐに交換してください。
- 電池から漏れた液が皮膚や衣服についた場合は、すぐに洗い流してください。
※万一、目に入ったときは水で洗い流した後、医師の診察を受けてください。
- 新しい電池と使用済みの電池、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 充電式電池を使用する場合は、充電式電池に付属の取扱説明書を参照してください。
- ベッドを長期間使用しない場合は取出してください。

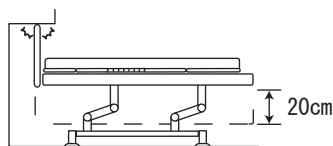
■サイドフレーム・エンドフレームに足をかけて乗り降りしないでください



- ベッドから転落・転倒してけがをするおそれがあります。
- サイドフレーム・エンドフレームに大きな力がかかり、破損・変形の原因となります。

⚠️ 注意

■高さ調節のとき、壁や梁、壁のコンセントに気をつけてください



- ベッドや壁などが破損・変形するおそれがあります。ベッドは高さ調節操作で、上下に約 20cm 動きます。ご使用の際には、高さ調節でベッドが壁や梁、電源プラグにあたらぬことをご確認ください。(33 ページ参照)

■ベッド周辺のスペースを確保して設置してください

- 高さ調節のとき、ベッド本体が前後に動作するため壁に当たり、ベッドや壁・ゆかが破損・変形するおそれがあります。(33 ページ参照)

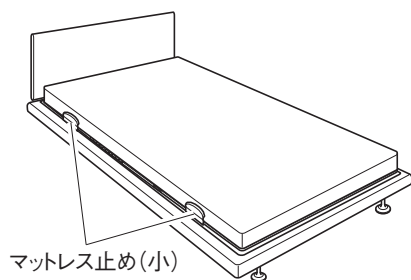
■ベッドに安全使用荷重を超える荷重を加えないでください

- ベッドが破損してけがをするおそれがあります。このベッドの安全使用荷重は 1700N (174 kgf) です。安全使用荷重は、ベッドを安全に使用できる荷重であり、使用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重です。

■リモコン操作時は周囲を確認してください

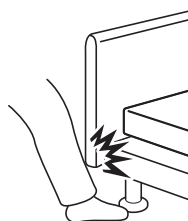
- ベッドの動作範囲内にもものがあると、ベッドの動作によって周囲のものを破損させたり、ベッドが破損・変形する原因となります。

■乗り降りの際などにマットレス止め(小)に身体をぶつけないように注意してください



- けがをするおそれがあります。

■ベッドの角に注意してください

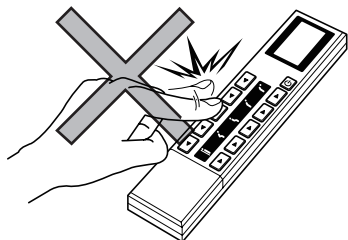


- 足などをぶつけてけがをするおそれがあります。

③ 安全に使用するための注意事項



■ リモコンのボタンを強く押さないでください

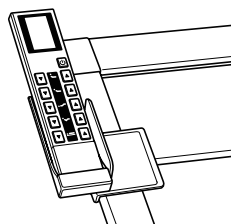


- ボタンが破損・変形して誤動作の原因となります。

■ リモコンに強い衝撃を与えたり、落下させないでください

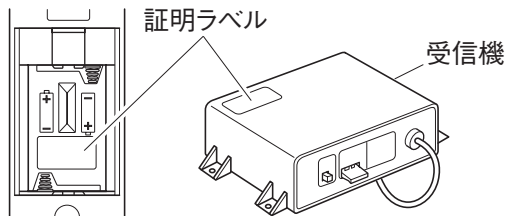
- 衝撃によりリモコンが破損して、誤動作の原因となります。

■ リモコンを操作しないときはリモコンホルダーに格納してください



- 身体の下に入り込むなどして、不意にボタンを押すことによる誤操作のおそれがあります。
- 誤って足で踏むなどして、リモコンの破損・変形の原因となります。
- オプションのサイドレール・介助バーなどを使用する場合は、リモコンホルダーをベッド同一側に取付けることはできません。リモコンの置き場所に注意してください。(木製フレーム・木製ボード機種のみ)

■ リモコンの電池ケース部と受信機の証明ラベルをはがしたり、リモコンや受信機を修理・改造しないでください



※本製品は、特定無線設備の技術基準適合証明を取得しています。

- 証明ラベルをはがさないでください。
- 分解して修理・変更・改造をしないでください。
- 証明ラベルをはがしたり、お客様が修理・変更・改造したものは、不法無線局として法律により罰せられることがあります。
- 日本国内でのみ使用してください。

 **注意**

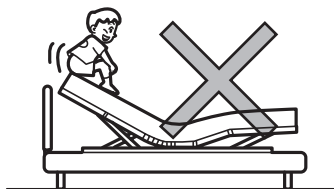
■ **2人以上で使用しないでください**



- このベッドは1人用の設計になっています。2人以上で使用すると、ベッドが破損してけがをするおそれがあります。このベッドの最大使用者体重は135kgです。一時的に2人以上の方がベッドに乗る必要がある場合は以下の点を確認してください。

- ・ベッドに乗る方の合計体重が135kgを超えていないこと。
- ・ボトムが水平になり、最低高さになっていること。

■ **あがっているボトムに乗らないでください**



- ボトムの支持部に大きな力がかかり、破損・変形の原因となります。

■ **スプレータイプの殺虫剤をベッドに直接噴射しないでください**

- 殺虫剤に含まれる溶剤によってベッドが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがありますので十分注意してください。

■ **ベッドに寄り掛からないでください**

- ベッドが不意に動き、けがをするおそれがあります。

1. 各部の説明

■リモコン操作によって、ベッドの頭ボトム・背ボトムの角度、膝ボトムの角度、ベッド全体の高さを無段階に調節できます。



●操作が理解できないと思われる方(12歳以下のお子様や認知症の方など)に操作させないでください。操作が理解できないと思われる方が、1人でリモコンを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1人でリモコンに触れる可能性がある場合には、リモコンの電池を抜く・電源プラグを抜く・もしくはベッド本体にある受信設定スイッチで受信拒否に設定し(27ページ参照)、誤操作による事故を未然に防いでください。

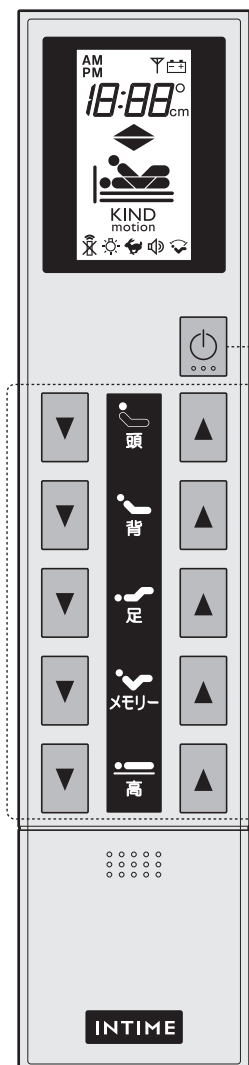
液晶表示パネル



- 受信感度の表示(アンテナマーク)
- 電池の残量警告
- 時計/角度および高さ表示
リモコンの電源を入れると時計が表示され、ベッドが動作している間は、角度または高さが表示されます。(頭あげは除く)
- 動作部位の表示
- KINDモーション動作の表示(設定方法は24ページ)
表示されている場合は、背ボタンを押すと背ボトムと膝ボトムが連動しKINDモーションで動作します。
※KINDモーションについては30ページを参照してください。
- 背・膝ボトム角度制限ありの表示(設定方法23ページ)
※角度制限については23ページを参照してください。
- 操作音ありの表示(設定方法23ページ)
- 背あげ動作速度が「はやい」の表示(設定方法22ページ)
- フットライト(別売)点灯中の表示(操作方法21ページ)
- フットライトがベッドに取付いていない状態でもフットライトボタンを押すと液晶表示パネルにフットライト点灯中のキャラクターが表示されます。
- 受信拒否の表示(設定方法27ページ)



●液晶表示パネルに「H6」などが表示されているときは、何らかの異常があるときです。72～73ページ「16. 故障かな?と思ったら」を参考に確認を行ってください。



電源ボタン

■電源ボタンを押すとリモコンの電源が入ります。

再度押すと電源を切ることができます。また、電源を入れた状態で、約10秒間放置すると、自動で電源が切れます。

操作ボタン

■各ボトム of 角度調節およびベッドの高さ調節ができます。

頭 ————— 頭の「▲」あげ・「▼」さげボタン

頭ボトム of 角度調節ができます。

背 ————— 背の「▲」あげ・「▼」さげボタン

背ボトム of 角度調節ができます。

足 ————— 膝の「▲」あげ・「▼」さげボタン

膝ボトム of 角度調節ができます

メモリー ———— メモリー「▲」あげボタン

設定したメモリーポジションまで背・膝ボトムが動作します。

メモリー「▼」さげボタン

背・膝ボトムが水平になるまで動作します。

高 ————— ベッドの「▲」あげ・「▼」さげボタン

ベッドの高さが調節できます。



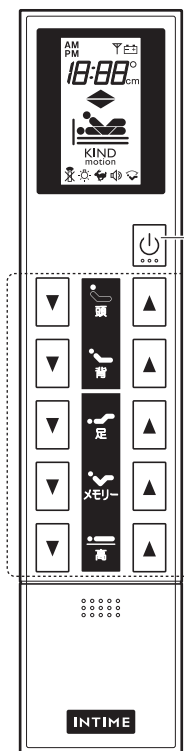
●操作後、約 10 秒間経過すると、リモコンの電源が切れ、表示も消えます。

(オートパワーオフ機能)

●2 つ以上のボタンを同時に押した場合、安全のため誤操作とみなし動作しません。

2. リモコンの使いかた

使い方



- ①電源ボタンを押し、リモコンの電源を入れてください。
液晶表示パネルに時刻が表示され、ベッドを操作できるようになります。
また、液晶表示パネル・ボタン部はバックライトが点灯します。



現在時刻が表示されます。
※現在時刻の合せかたは25ページを参照ください。

① 電源ボタン

② 操作ボタン



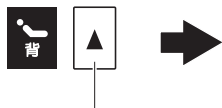
- ベッド本体の電源プラグがコンセントに差込まれていない場合、電源ボタンを押してから約3秒後にベッドキャラクターが点滅します。
このような場合は、ベッド本体の電源プラグをコンセントに差込み、電源を入れてください。



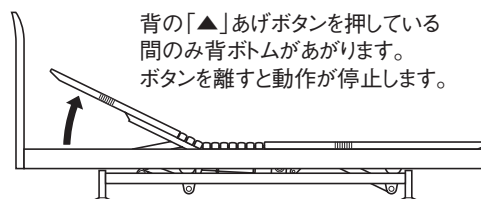
キャラクターが点滅します。

- ②操作ボタンを押すとベッドが動作します。

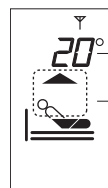
[例] 背の「▲」あげボタンを押す



背の「▲」あげボタンを押す



背の「▲」あげボタンを押している間のみ背ボトムがあがります。
ボタンを離すと動作が停止します。



背ボトムの角度

背ボトムのキャラクター

ベッドが動作している間、液晶表示パネルには動作している部位と、現在の角度または高さが表示されます。



- ベッドを操作する場合は、リモコンの電源ボタンを押してリモコンの電源を入れてから行ってください。誤操作防止のため、操作ボタンを押しただけでは、リモコンの電源が入らず、ベッドは動作しません。
- ベッドが動作し終わっても操作ボタンを押し続けると、「H7」が表示されます。操作ボタンをはなし、「H7」が消えれば故障ではありません。(ボタンを押し続けることによる電池の消耗を防ぐために表示しています)

- ③操作が終わったら、リモコンの電源を切ってください。

電源ボタンを押すと、リモコンの電源を切ることができます。また、すべてのボタンから指をはなした後、約10秒間経過すると自動でリモコンの電源が切れます。(オートパワーオフ機能)

3. 使用範囲

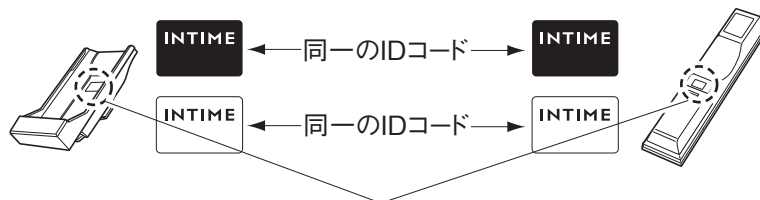
■ベッドの操作はリモコンで行うことができます。ベッド本体と無線通信により操作するため、リモコンをベッドの方向に向けて操作する必要はありません。

警告

●2台並べて使用する場合は、リモコンを取り間違えないようにしてください。並べて使用するときは、リモコンと、リモコンホルダー（ベッド本体）の識別シールが一致していることを確認し、ベッドを操作してください。

※リモコンを取り違えて操作すると、思わぬけがをするおそれがあります。

※識別シールの貼付け・IDコードについては45～47ページを参照してください。

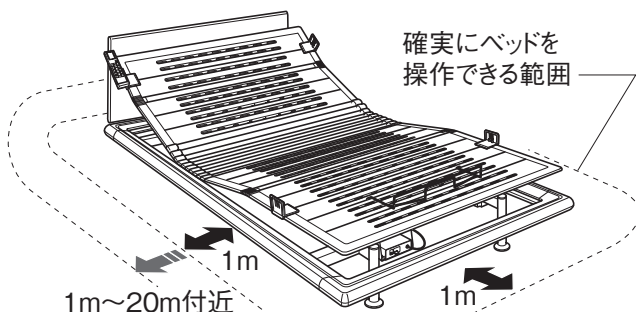


同一のシールが貼られていることを確認してください。

●操作が理解できないと思われる方（12歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください。操作が理解できないと思われる方が1人でリモコンを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1人でリモコンに触れる可能性がある場合には、リモコンの電池を抜くか、電源プラグを抜く、もしくはベッド本体にある受信設定スイッチで受信拒否に設定し（27ページ参照）、誤操作による事故を未然に防いでください。

操作範囲

■リモコンでベッドを操作できる範囲は下図のとおりです。周辺にもものを置いている場合などは、場所によってはベッドを操作できないことがあります。液晶表示パネルの▽マークを目安にしてください。



※1m以上では障害物などによりベッドを操作できない場所もあります。

警告

●リモコンでベッドを操作するときはベッド動作が確認できる場所で行ってください。ベッド周辺にいる人が、動作したボトムとフレームなどとの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。



●アンテナマーク点灯
ベッドを操作できます。



●アンテナマーク点滅
ベッドの動作が止まる場合があります。



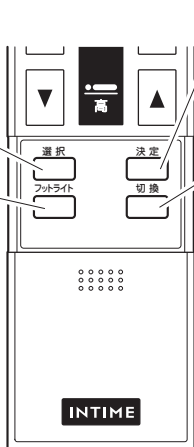
●アンテナマーク消灯
ベッドを操作できません。

4. 各機能の設定方法

■リモコンで、背ボトムの動作速度など、各種設定の切換えができます。

機能設定ボタン

- 選択ボタン**
設定する機能を選択する場合に使用します。
- 決定ボタン**
選択した機能を決定する場合に使用します。
- フットライトボタン**
フットライトを点灯／消灯させる場合に使用します。
※フットライトは別売です。フットライトが取付いている場合のみ有効です。
- 切換ボタン**
選択した機能を切換える場合に使用します。



- フットライトがベッドに取付いていない状態でもフットライトボタンを押すと液晶表示パネルにフットライト点灯中のキャラクターが表示されます。

液晶表示パネルの流れ

↓ **選択ボタン**を押す

①メモリーポジション設定 点滅

↓ **選択ボタン**を押す

②背あげ動作速度切換 キャラクター点滅

↓ **選択ボタン**を押す

③操作音あり／なし切換 キャラクター点滅

↓ **選択ボタン**を押す

④角度制限あり／なし切換 キャラクター点滅

↓ **選択ボタン**を押す

⑤KINDモーションあり／なし切換 キャラクター点滅

↓ **選択ボタン**を押す

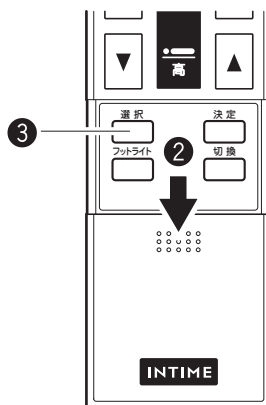
⑥時刻設定 キャラクター点滅

↓ **選択ボタン**を押す

通常の状態に戻る

※各キャラクターが点滅している状態で、10秒間操作を行わないと通常の状態に戻ります。

- ①電源ボタンを押して、リモコンの電源を入れてください。
- ②カバーをスライドさせて、機能設定ボタンを出してください。
- ③**選択**ボタンを押してください。



- ④液晶表示パネルのキャラクターが点滅します。**選択**ボタンを押すと、設定する機能が切換わります。

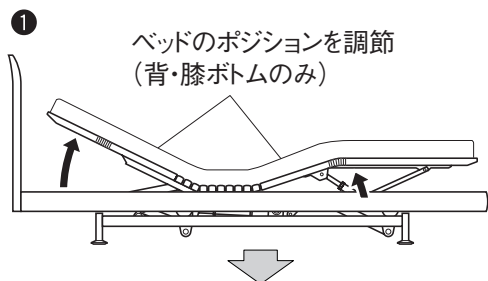
注意

- カバーをスライドさせる際は無理な力をかけないでください。スライド部分が破損するおそれがあります。

メモリーポジション

※出荷時はメモリーポジションは背 34°、膝 18° に設定されています。

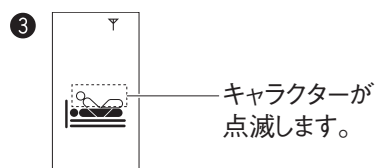
好みのベッドポジションになるよう設定することができます。



- ① 始めにベッドをお好みの位置まで調節してください。
- ② **選択** ボタンを押してください。
- ③ ベッドキャラクター が点滅していることを確認してください。
- ④ **決定** ボタンを押してください。



決定 ボタンを押したときのベッドポジションが記憶されました。
次回メモリーの「▲」ボタンを押すと、記憶されたポジションになるよう動作します。



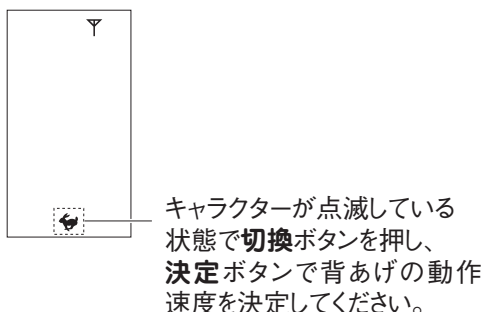
- キャラクターが点滅している間は、背あげなどのベッド操作ができません。機能設定を終えてから、ベッドの操作を行ってください。



背あげ動作速度切換

※出荷時は背あげ動作速度は「ふつう」に設定されています。

背あげの動作速度を「はやい」もしくは、「ふつう」に切換えることができます。



- ① マークが点滅するまで、**選択** ボタンを押してください。
- ② **切換** ボタンを押して、速度を切換えてください。
- ③ マークが点灯しているときに**決定** ボタンを押すと、動作速度が「はやい」に設定されます。
 マークが消灯しているときに**決定** ボタンを押すと、「ふつう」に設定されます。

- マーク点灯→はやい
- マーク消灯→ふつう



- 背あげの動作速度は、「はやい」に設定されている場合でも KIND モーションなど背・膝ボトムが連動する場合は、「ふつう」で動作します。

4. 各機能の設定方法

操作音あり／なし切換

※出荷時は「操作音あり」に設定されています。

リモコンの操作ボタンを押したときに鳴る操作音を、「あり」もしくは、「なし」に切換えることができます。(操作音は、ベッド本体の受信機より鳴ります)



キャラクターが点滅している状態で**切換**ボタンを押し、**決定**ボタンで操作音のあり／なしを決定してください。

- 🔊 マーク点灯→操作音あり
- 🔊 マーク消灯→操作音なし

- ① 🔊 マークが点滅するまで、**選択**ボタンを押してください。
- ② **切換**ボタンを押して、操作音あり／なしを切換えてください。
- ③ 🔊 マークが点灯しているときに**決定**ボタンを押すと、「操作音あり」に設定されます。
🔊 マークが消灯しているときに**決定**ボタンを押すと、「操作音なし」に設定されます。

角度制限あり／なし切換

※出荷時は「角度制限あり」に設定されています。

角度制限機能を設定もしくは解除することができます。

※角度制限機能とは：胸部や腹部にかかる圧迫感を軽減するため、背ボトムと膝ボトムとの角度が約90°より小さくならないように動作する機能です。



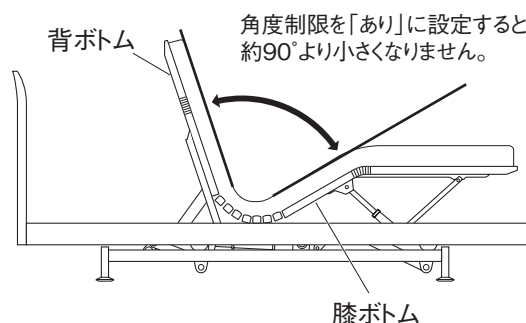
キャラクターが点滅している状態で**切換**ボタンを押し、**決定**ボタンで角度制限機能のあり／なしを決定してください。

- 🪑 マーク点灯→角度制限あり
- 🪑 マーク消灯→角度制限なし

- ① 🪑 マークが点滅するまで、**選択**ボタンを押してください。
- ② **切換**ボタンを押して、角度制限あり／なしを切換えてください。
- ③ 🪑 マークが点灯しているときに**決定**ボタンを押すと、「角度制限あり」に設定されます。
🪑 マークが消灯しているときに**決定**ボタンを押すと、「角度制限なし」に設定されます。

⚠️ けい こく 警告

- 角度制限機能設定なしのときは、背ボトムと膝ボトムとの間で圧迫しないように注意してください。圧迫により、けがをするおそれがあります。介護を要する方がベッドをご使用の場合は角度制限機能を設定してください。



■背あげ

- ①背ボトムをあげていき、背ボトムと膝ボトムとの角度が約 90° になると、膝ボトムがさがり始めます。
- ②背ボトムが最大角度 (約 75°) に達すると停止します。



- 背ボトムの速さを『速い』に設定していても、角度制限機能が働いている間は、背ボトムは『普通』で動作します。

■膝あげ

- ①膝ボトムをあげていき、背ボトムと膝ボトムとの角度が約 90° になると、背ボトムがさがり始めます。
- ②膝ボトムが最大角度 (約 30°) に達すると停止します。

KINDモーションあり／なし切換

※出荷時は「KIND モーションなし」に設定されています。

背の「▲」または「▼」ボタンを押した場合に、KIND モーションで背・膝ボトムを連動して動作するか、背ボトムのみ単独で動作するかを切換えることができます。

※ KIND モーションについては 30 ページを参照してください。



キャラクターが点滅している状態で切換ボタンを押し、決定ボタンでKINDのあり／なしを決定してください。

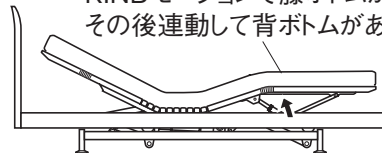
- ① KIND motion マークが点滅するまで、**選択**ボタンを押してください。
- ② **切換**ボタンを押して、KIND モーションあり／なしを切換えてください。
- ③ KIND motion マークが点灯しているときに**決定**ボタンを押すと、背・膝ボトムは KIND モーションで動作するよう設定されます。KIND motion マークが消灯しているときに**決定**ボタンを押すと、背ボトムのみ単独で動作するよう設定されます。

- KIND motion キャラクターが点灯している状態で背の「▲」または「▼」ボタンを押す



背の「▲」ボタンを押す

KINDモーションで膝ボトムがあがり、その後連動して背ボトムがあがります。

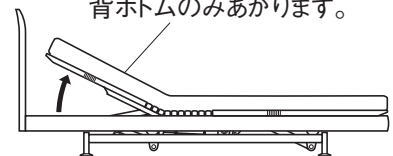


- KIND motion キャラクターがない場合に背の「▲」または「▼」ボタンを押す



背の「▲」ボタンを押す

背ボトムのみあがります。



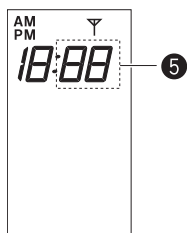
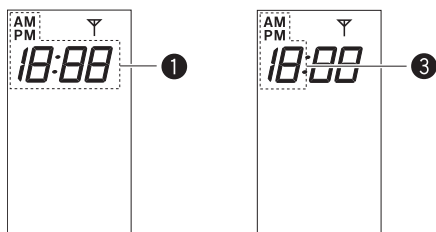
4 リモコンについて

4. 各機能の設定方法

時刻設定

※出荷時は時間は設定されていません。

リモコンの電源を入れた時に表示される現在時刻を設定できます。



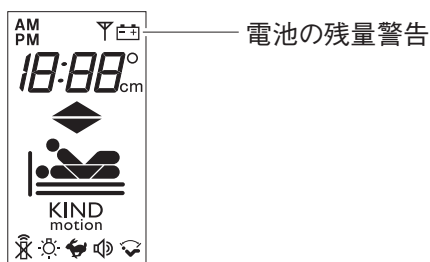
- ①時刻が点滅するまで、**選択**ボタンを押してください。
- ②時刻が点滅したら、**切換**ボタンを押してください。
- ③操作ボタンの「▲」「▼」を使用し、時間を設定してください。
※どの操作ボタンでも設定できます。
- ④設定する時間に合わせたら、**切換**ボタンを押してください。
※**決定**ボタンを押すと、分の設定はそのまま時刻設定を終了します。
- ⑤操作ボタンの「▲」「▼」を使用し、分を設定してください。
- ⑥設定する分に合わせたら、**決定**ボタンを押してください。
※**切換**ボタンを押すと、時間の設定モードに戻ります。



- 設定した時刻は、リモコンから電池を抜くとリセットされます。その場合は再度設定しなおしてください。

5. 電池の交換方法

液晶表示パネルに電池マークが表示されたら、電池の寿命が近づいています。新しい電池に交換してください。



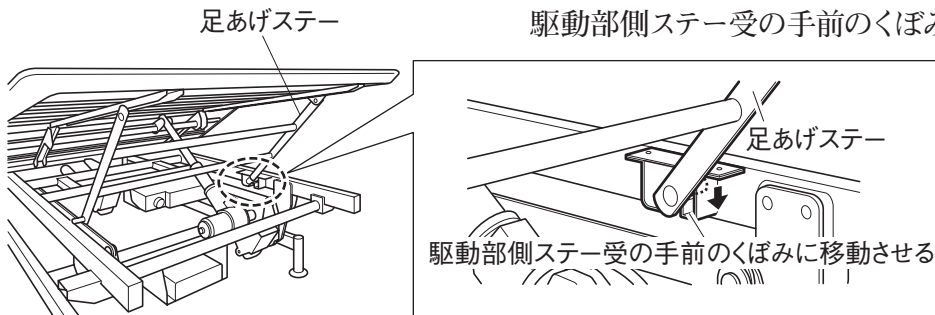
- 電池マークが点滅したら、電池の容量が低下してきています。できるだけ早い時期に電池を交換してください。
- 電池マークが点灯したら、電池の容量がほとんどありません。リモコンが使用できなくなるおそれがありますので、直ちに電池を交換、もしくは充電機の場合は充電してください。

5 受信機について

- 受信機は、リモコンと無線通信を行い、ベッドを操作するための信号をやり取りします。また、ベッドを水平に戻す「フラットスイッチ」と、リモコンの操作を無効にする「受信拒否」の設定があります。

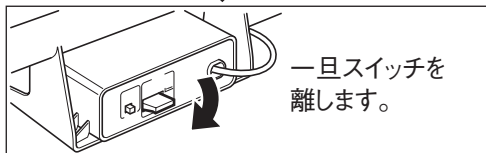
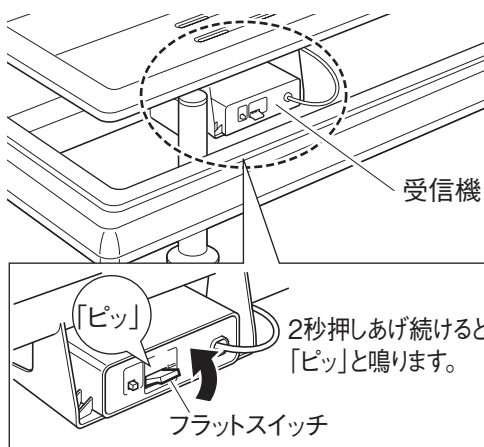
準備

- 受信機を操作する場合は必ず足ボトム足あげステーを駆動部側ステー受の手前のくぼみに移動させてください。



フラットスイッチの使いかた

- リモコンを紛失した場合など、リモコンで操作ができないときに受信機にある「フラットスイッチ」で、あがった状態の背ボトム、膝ボトムを水平まで動作させることができます。



- ①足ボトムの足あげステーの位置が駆動部側ステー受の手前のくぼみに移動されていることを確認してください。
- ②フラットスイッチを押しあげてください。押しあげた状態のまま約2秒たつと「ピッ」と鳴ります。
- ③「ピッ」と鳴ったら一旦フラットスイッチを離し、もう一回スイッチを押しあげてください。スイッチを押しあげている間のみ、ベッドのボトムが水平になるように動作します。



- 足ボトムは足あげステーを駆動部側ステー受の奥のくぼみに移動したときに水平になります。

警告

- 足あげステーを駆動部側ステー受の手前のくぼみに移動させないでフラットスイッチを操作すると、さがってきた膝ボトムや足ボトムに腕や手はさまれて、けがをするおそれがあります。



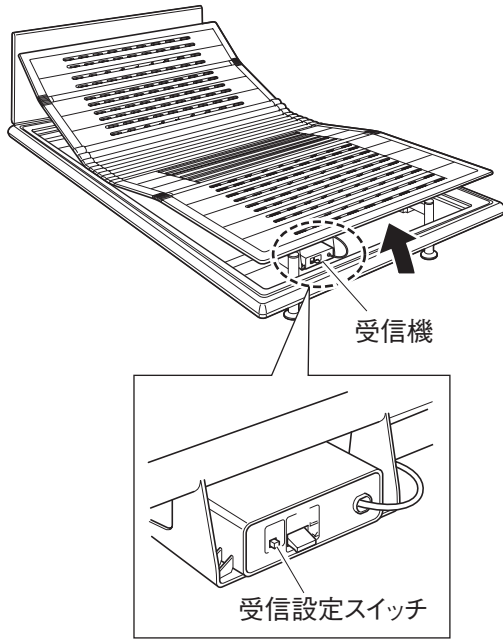
- フラットスイッチにより背、膝ボトムは水平まで動作しますが、高さはフラットスイッチを操作しても変わりません。

5 受信機について

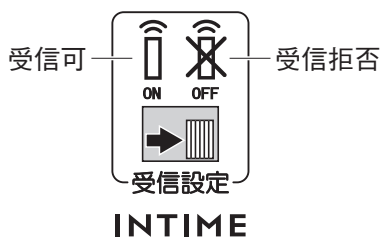
受信拒否のしかた

※出荷時は受信可側（ON 側）に設定されています。

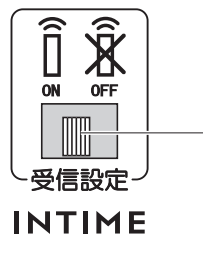
受信機が受信拒否の状態では、リモコンの操作ボタンを押してもベッドは動作しません。
リモコンでベッドの操作をさせたくない場合にご利用ください。




- ① 足ボトム足あげステーが駆動部側ステー受の手前のくぼみに移動されていることを確認してください。
(26 ページ参照)
- ② 受信設定スイッチを、受信拒否側 (OFF 側) にスライドさせてください。
- ③ 受信拒否の状態にすると、リモコンでのベッドの操作ができなくなります。



- 受信設定スイッチが完全に切換わっていないと、「H6」のエラーがリモコンの液晶表示パネルに表示される場合があります。
ON もしくは OFF 側に完全に切換えるとエラーが消えます。



スイッチが中間の位置で止まった状態
H6のエラーが表示されることがあります。

- 受信拒否側 (OFF 側) に設定されると、リモコンの液晶表示パネルに  マークが表示されます。

※受信拒否の状態のままベッドを水平にしたい場合は、受信機のフラットスイッチ (26 ページ参照) を操作してください。

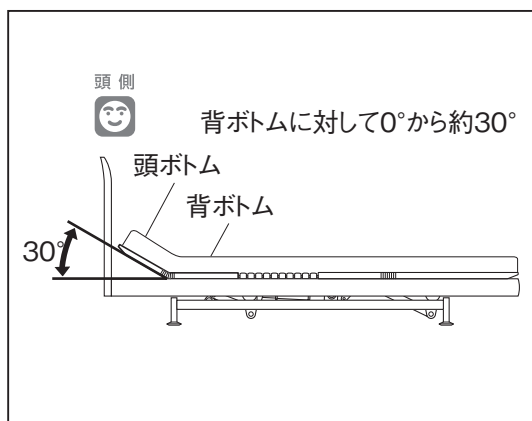
6 動作の説明

- ベッドの頭ボトム、背ボトム、膝ボトムの角度やベッド全体の高さを、電動操作で無段階に調節できます。リモコンのボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。必要な位置まで動かして、ベッドをお使いください。
- ベッドの動作情報は、リモコンの液晶表示パネルにて確認することができます。
- 下記の液晶表示の中で、白抜きの箇所が点滅表示します。



- 表示される値は目安です。
- 液晶表示パネルは、操作後 10 秒間経過すると表示内容が自動的に消えます。
- 液晶表示パネルに「H6」などのエラーコードが表示された場合は、72～73 ページ「16. 故障かな?と思ったら」を参照してください。

頭 あ げ

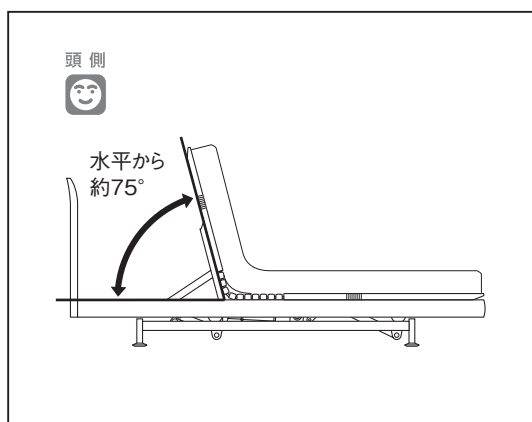


- 頭ボトムの角度を調節できます。背ボトムに対して0°から約30°まで調節できます。



- 頭あげ動作時は、液晶表示パネルに角度は表示されません。

背 あ げ

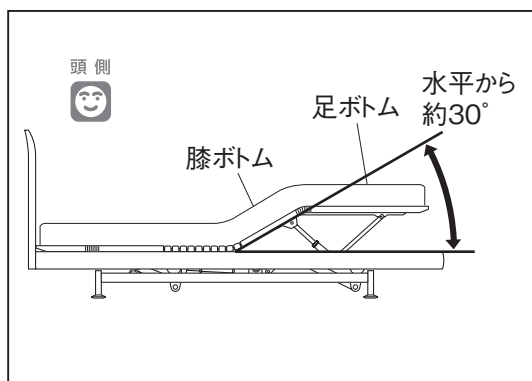


- 背ボトムの角度を調節できます。背ボトムを、水平から約75°まで調節できます。
- 液晶表示パネルには、背あげ角度を2°ごとに表示します。

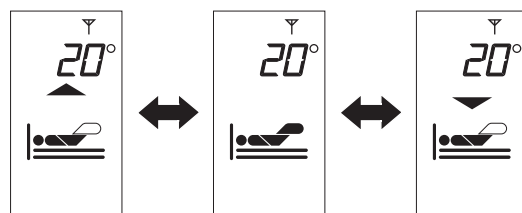


6 動作の説明

膝 あ げ



- 膝ボトムの角度を調節できます。膝ボトムを、水平から約30°まで調節できます。足ボトムは膝ボトムに追従し、ほぼ水平を維持するように動きます。
- 液晶表示パネルには、膝あげ角度を2°ごとに表示します。

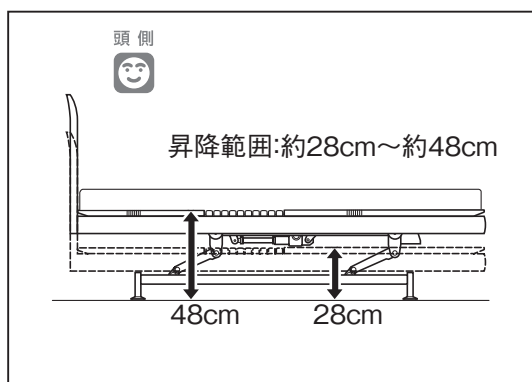


膝あげ動作

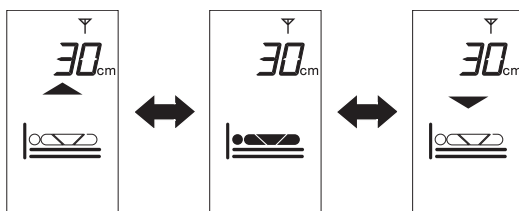
動作停止状態

膝下げ動作

高 さ 調 節



- ベッドの高さを調節できます。ゆかからボトム上面の高さを、約28cm～約48cmまで調節できます。
- 液晶表示パネルには、ベッドの高さを2cmごとに表示します。
- 高さが約28cm～約30cmの範囲にある場合は「—」と表示します。

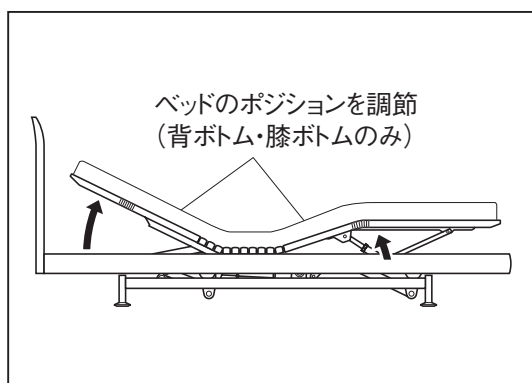


高さあげ動作

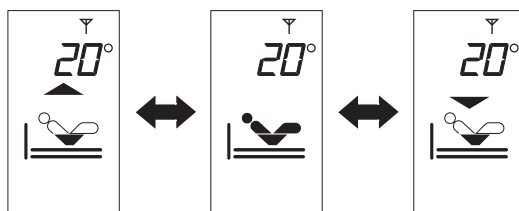
動作停止状態

高さ下げ動作

メモリーポジション



- 背ボトム・膝ボトムの角度を設定したポジションまで調節できます。
- 液晶表示パネルには背あげ角度を2°ごとに表示します。
- メモリーの「▲」ボタンを押すと、背ボトムと膝ボトムが連動してあがります。出荷時の設定は背:34°、膝:18°です。設定方法は、22ページを参照してください。



メモリーあげ動作

動作停止状態

メモリー下げ動作

KIND モーション

液晶表示パネルに **KIND_{motion}** の表示がされている状態で、背の「▲」または「▼」ボタンを押すと、KIND モーションで背ボトム・膝ボトムが連動して動作します。

(KIND モーションで動作できるように設定する方法は、24 ページをご参照ください)

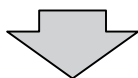
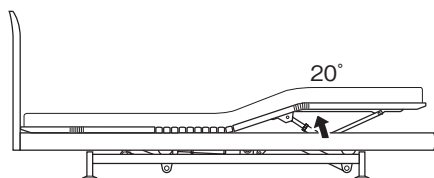
■ KIND モーションは背あげ・さげ時の圧迫感やずれを軽減し、より良い姿勢を保つことを目的とした機能です。

ご使用上、次のような特長があります。

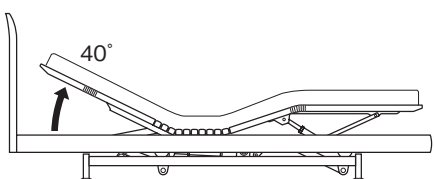
- 背あげ・さげ時の圧迫感を大幅に軽減します。
- 背あげ・さげ時の身体のずれを大幅に軽減します。
- 背あげ・さげ時の姿勢をしっかり保持します。

KIND モーションあげ時

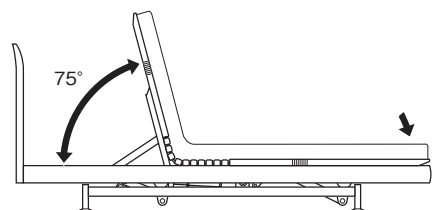
- ① 膝ボトムが先行して約 20°まであがります。



- ② 膝ボトムが約 20° のままで一度止まり、背ボトムがあがりはじめます。背ボトムが約 40° まであがると、膝ボトムがさがりはじめます。

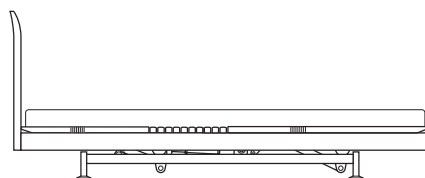


- ③ 背ボトムが約 75° まであがるのとほぼ同時に膝ボトムが水平までさがります。

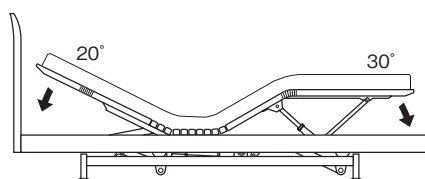


KIND モーションさげ時

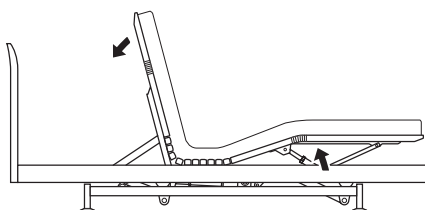
- ③ 背・膝ボトムが水平までさがります。



- ② 膝ボトムが約 30° のままで一度停止します。背ボトムが約 20° までさがると、膝ボトムがさがりはじめます。



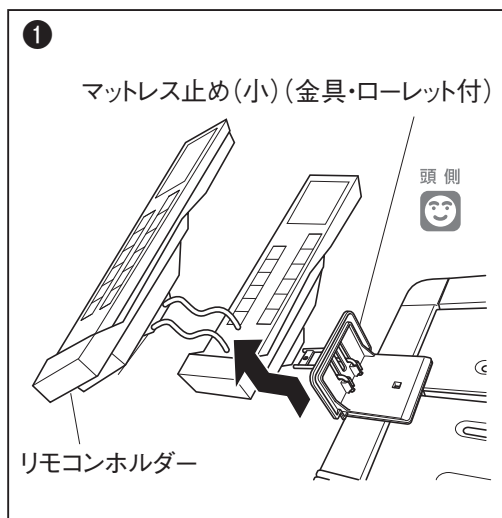
- ① 背ボトムがさがり始めるのとほぼ同時に膝ボトムがあがりはじめます。



7 オプション取付穴の使用法

木製フレーム・木製ボード

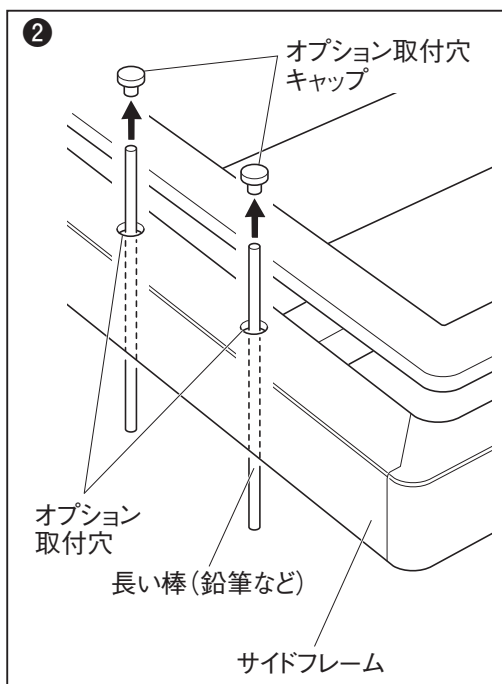
■サイドレール、介助バーを使用する場合に行ってください。



① リモコンホルダー・金具・ローレットをベッドから取外してください。サイドグリップ(別売)がベッドに取付いている場合は、サイドグリップもベッドから取外してください。



- リモコンホルダーはこの取扱説明書と一緒に大切に保管してください。
- リモコンはお子様などの手の届かない場所に置いてください。



② 必要な部分のサイドフレームのオプション取付穴キャップを取外してください。オプション取付穴キャップを取外す際はオプション取付穴の下から先端が鋭利になっていない長い棒(鉛筆など)を差込んでオプション取付穴キャップを押し出してください。



- 取外したオプション取付穴キャップは乳幼児やお子様や認知症の方の手の届かない場所に保管してください。誤飲や思わぬけがの原因となります。



- サイドレール、介助バーを1本ベッドに取付けるにはベッド端から2ヶ所のオプション取付穴が必要です。

■各製品は以下のユニットの組合せで使用してください。

警告

●ベッドは正しいユニットの組合せを確認した上で組立ててください。誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。各ユニットの番号は段ボール箱の印字・製品識別表示ラベルに記載されています。

ユニット名称	ワイドシングル				
	RW-7400F	RW-7400W	RW-7400B	RW-7411Y	RW-7421R
台車	S7001D				
駆動部	S7400K				
背ボトム	W7000UH				
膝ボトム	W7000UF				
フレームセット	W7000AV	W7000AV	W7000AV	W7011YV	W7021RV
ボードセット※	—	W7000WB	W7000BB	W7011YB	W7021RB

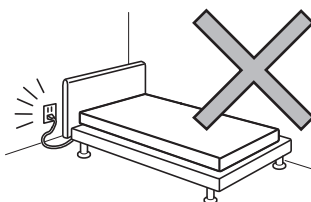
ユニット名称	シングル				
	RS-7400F	RS-7400W	RS-7400B	RS-7411Y	RS-7421R
台車	S7001D				
駆動部	S7400K				
背ボトム	S7000UH				
膝ボトム	S7000UF				
フレームセット	S7000AV	S7000AV	S7000AV	S7011YV	S7021RV
ボードセット※	—	S7000WB	S7000BB	S7011YB	S7021RB

※ W7011YB、W7021RB、S7011YB、S7021RB のユニット名称は「ボード」となります。

- ベッドを設置するにあたって下記の注意事項を守ってください。
- 一度組立ててしまいますと、部屋の中での移動、向きの変更が困難な場合があります。

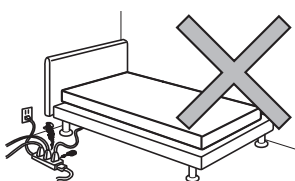
警告

■電源プラグの抜き差しができなくなる場所にはベッドを設置しないでください



- 誤操作を防止するために、電源プラグを抜くことが必要になる場合があります。
- 誤操作によるけがをされるおそれがあります。

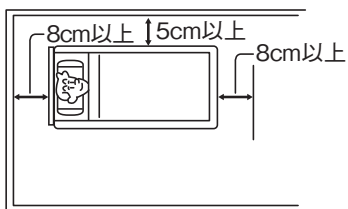
■ベッドの電源は直接コンセントからとってください



- コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。

⚠ 注意

■ ベッド周辺のスペースを確保してください

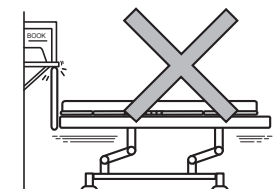


- ベッドの高さ操作時、ベッド本体は前後に動作します。頭側および足側には 8cm 以上のスペースを確保してください。
- ベッドから起きあがる場合に、ベッドの左右どちら側から乗り降りするかを確認し、スペースを確保してください。壁やものなどを傷つけるおそれがあります。
- 湿気がこもらないように壁から 5cm 以上離して設置してください。

■ ベッド使用時にゆかにかかる荷重に耐えられる場所に設置してください

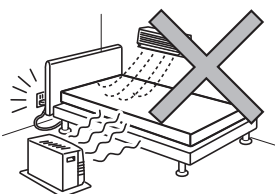
- ベッドの質量は最大約 141.5kg です。寝具およびオプション（別売）やベッドを使用する方の体重を加えた総質量が、ベッド使用時にゆかにかかる荷重となります。この荷重に耐えられる場所に設置してください。ゆかなどが破損するおそれがあります。

■ ベッド周りの家具備品、部屋の構造物の一部などと当たらないよう注意してください



- 特に高さ方向については、ベッドの高さ調節によってベッド周りの家具備品、部屋の構造物の一部などに当たらないように配慮してください。ベッドや家具備品や構造物などが破損するおそれがあります。

■ 故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください



- ・ほこり、煙、塩分、イオウ分、腐食性物質などの多い場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・冷暖房器による冷気や暖気が直接あたる場所
- ・振動や衝撃のある場所
- ・高温・多湿・低温・乾燥した場所
- ・ゆかが水平でない場所
- ・過度の水蒸気や油蒸気のかかりやすい場所
- ・換気の悪い場所

■ オプションのサイドグリップ（別売）、介助バー（別売）などが取付いている部分の周辺 20cm 以内に、テーブルなどの家具備品を置かないでください

- ベッドの電動操作時にぶつかるおそれがあります。

- 開梱後、下記の部品がすべて揃っていること、破損していないことを確認してください。
万一、部品の不足や破損があった場合には、販売店または直接弊社までご連絡ください。

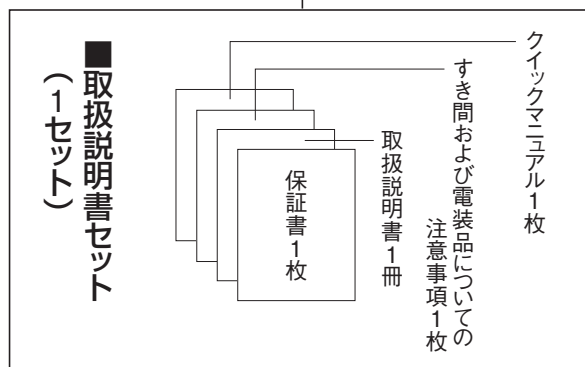
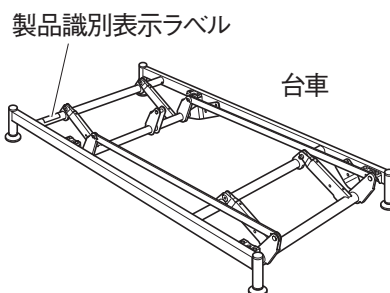
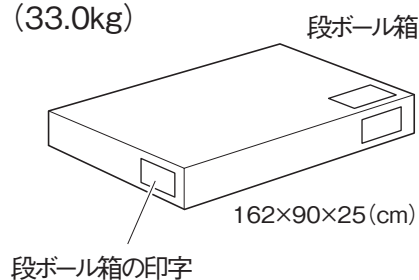
 **注意**

- 組立てる際は、ユニット同士やユニットの可動部で手をはさまないように注意してください。
- 組立ての際、ベッド各部の突起部分でけがをしないように注意してください。
- 重量のあるユニットの組立て・移動の際は、2人以上で作業を行ってください。背や腰を痛めるおそれがあります。

※（ ）内の数字は梱包材を含む質量です。

台車

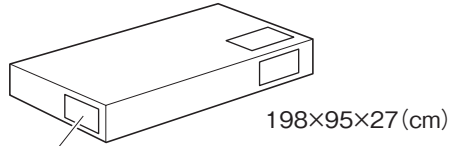
S7001D
約27.0kg
(33.0kg)



駆動部

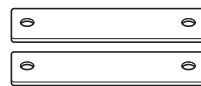
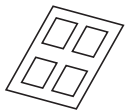
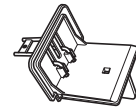
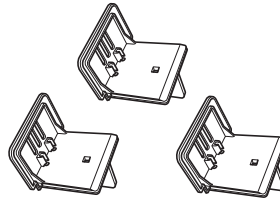
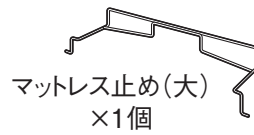
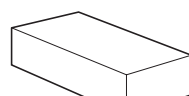
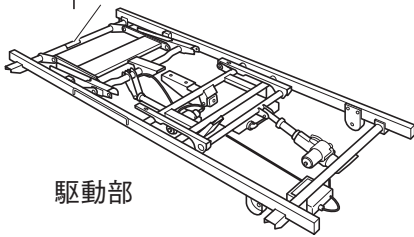
S7400K
約39.0kg
(49.0kg)

段ボール箱

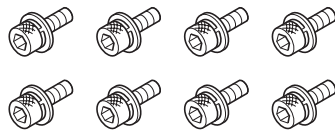
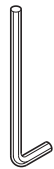


段ボール箱の印字

製品識別表示ラベル



■組立部品セット
(1セット)



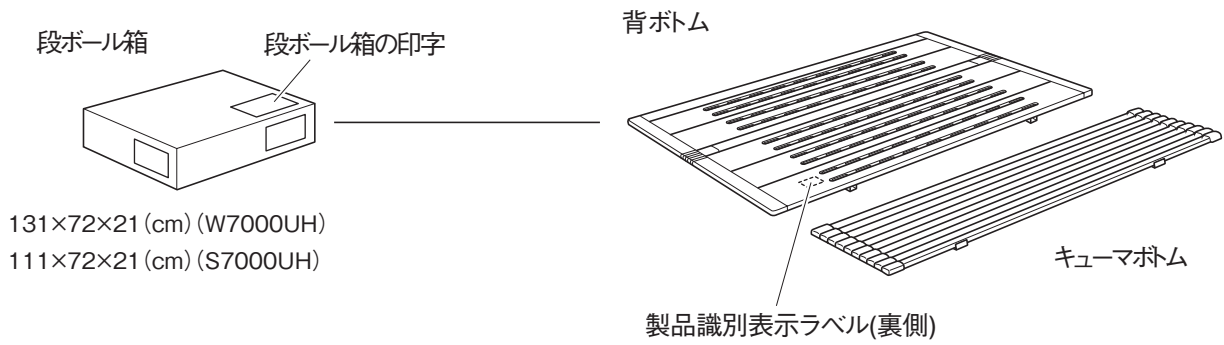
六角穴付ボルト
※ゆるみ止め付

ねじ部に緑の
ラインが入って
います。



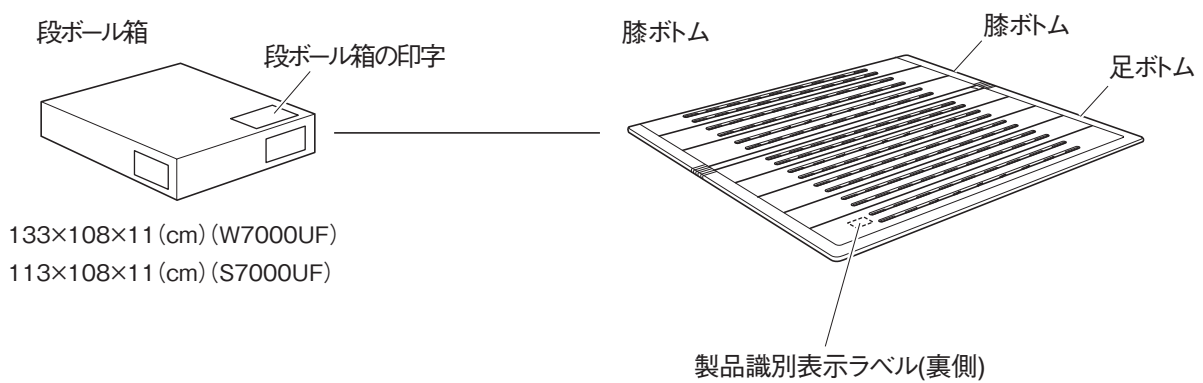
背ボトム

W7000UH	S7000UH
約17.0kg	約15.5kg
(23.5kg)	(21.0kg)



膝ボトム

W7000UF	S7000UF
約21.5kg	約19.0kg
(25.0kg)	(22.0kg)



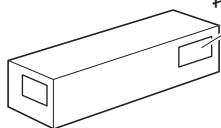
フレームセット

アルミフレーム

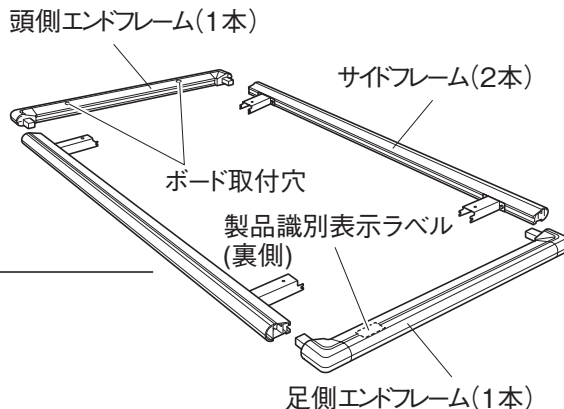
W7000AV S7000AV
 約21.5kg 約19.5kg
 (26.0kg) (23.0kg)

段ボール箱

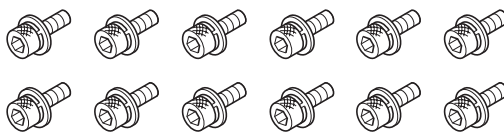
段ボール箱の印字



206×29×34 (cm) (W7000AV)
 206×29×24 (cm) (S7000AV)



組立部品セット
 (アセット)



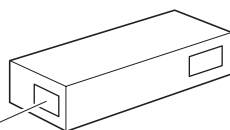
六角穴付ボルト(12本)

木製フレーム

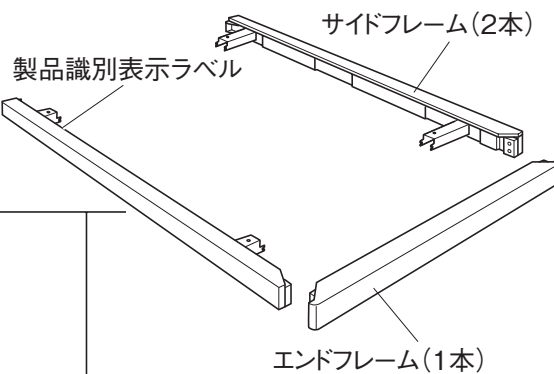
W7011YV S7011YV
 W7021RV S7021RV
 約26.5kg 約25.0kg
 (32.0kg) (29.0kg)

段ボール箱

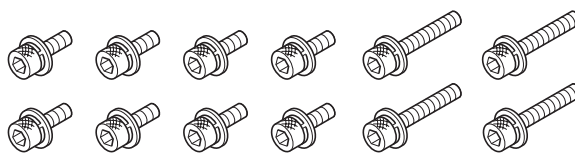
段ボール箱の印字



227×31×42 (cm)
 (W7011YV、W7021RV)
 227×31×32 (cm)
 (S7011YV、S7021RV)



組立部品セット
 (アセット)

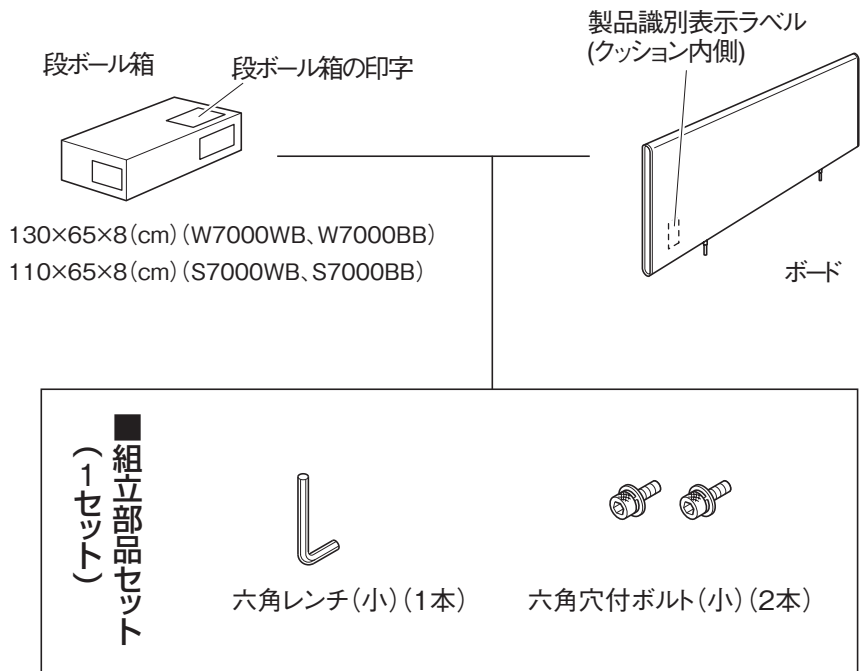


六角穴付ボルト(短)×8本
 六角穴付ボルト(長)×4本

ボードセット

クッションボード

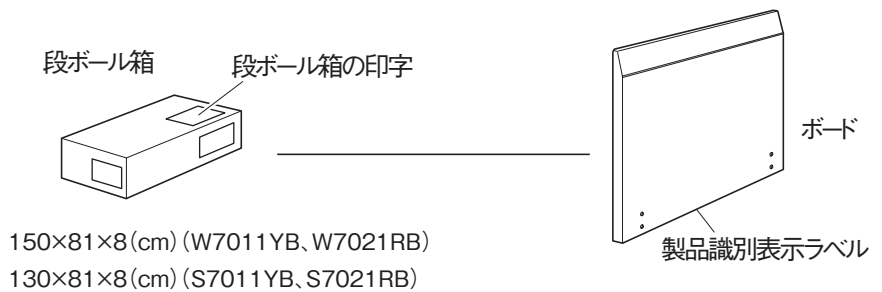
W7000WB	S7000WB
W7000BB	S7000BB
約7.5kg (11.5kg)	約7.0kg (10.0kg)



ボード

木製ボード

W7011YB	S7011YB
W7021RB	S7021RB
約9.0kg (12.0kg)	約7.3kg (10.0kg)



※色(レッド・イエロー)によって
形状が異なります。
イラストはイエロー色の形状
です。

11 ベッドの組立方法

1. 台車の設置

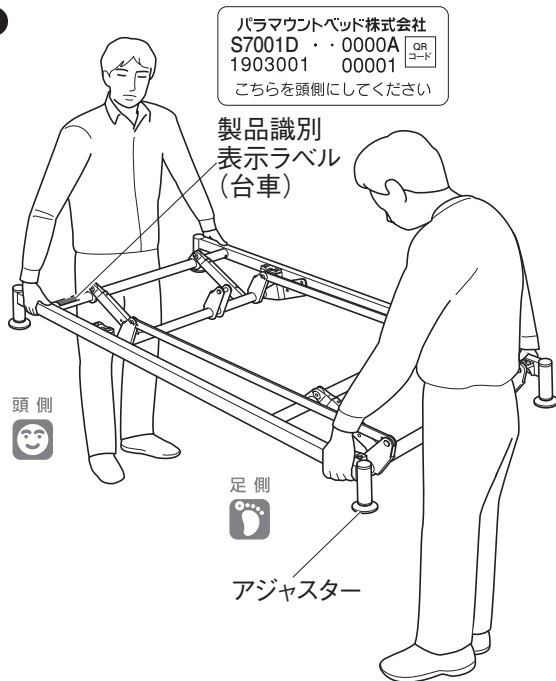
■ベッドの組立ては必ず販売店にご依頼ください



●ベッドの組立ては可動部に注意して行ってください。可動部に指をはさむなど、けがをするおそれがあります。

■組立て前に 32 ~ 33 ページ「9. 設置について」に従い、ベッドの配置をお決めください。一度組立ててしまいますと部屋の中での移動、向きの変更が困難な場合があります。

①



●キャスター(別売)を取付ける場合は、台車の設置の前に取付けを行います。取付方法の詳細は、キャスターの取扱説明書を参照してください。



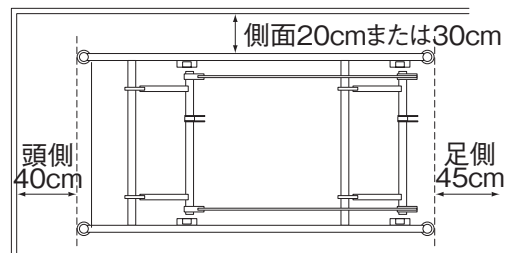
●台車は「製品識別表示ラベル」が貼ってある側を頭側にしてください。

①台車を、図のように左右のフレームを2人で持ち、設置してください。

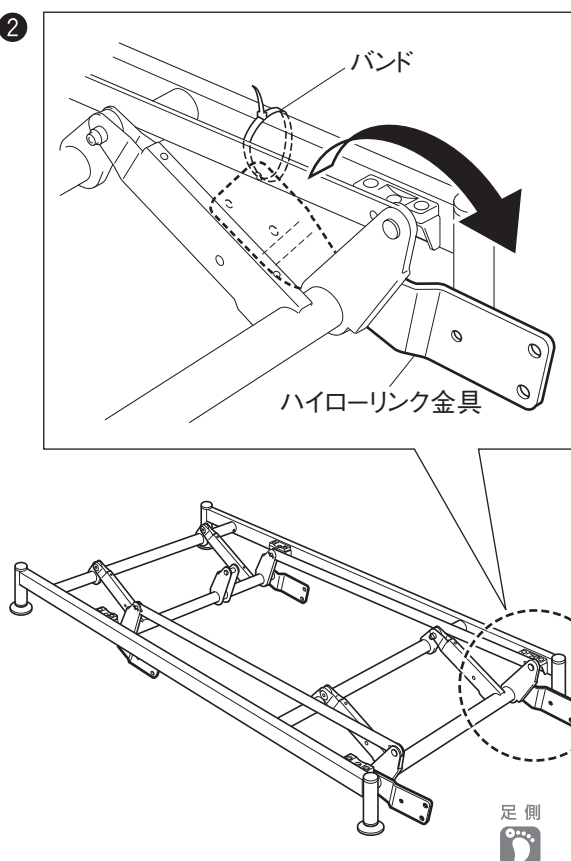
※設置の目安

組立後のベッドは、台車よりも大きくなります。台車から壁までの距離は、以下の寸法を参考にしてください。

- ・頭側 約 40cm
- ・足側 約 45cm
- ・側面 片側約 30cm (ワイドシングル)
片側約 20cm (シングル)



②



※ゆかの状態により、がたつきがある場合はアジャスターを回して調節してください。

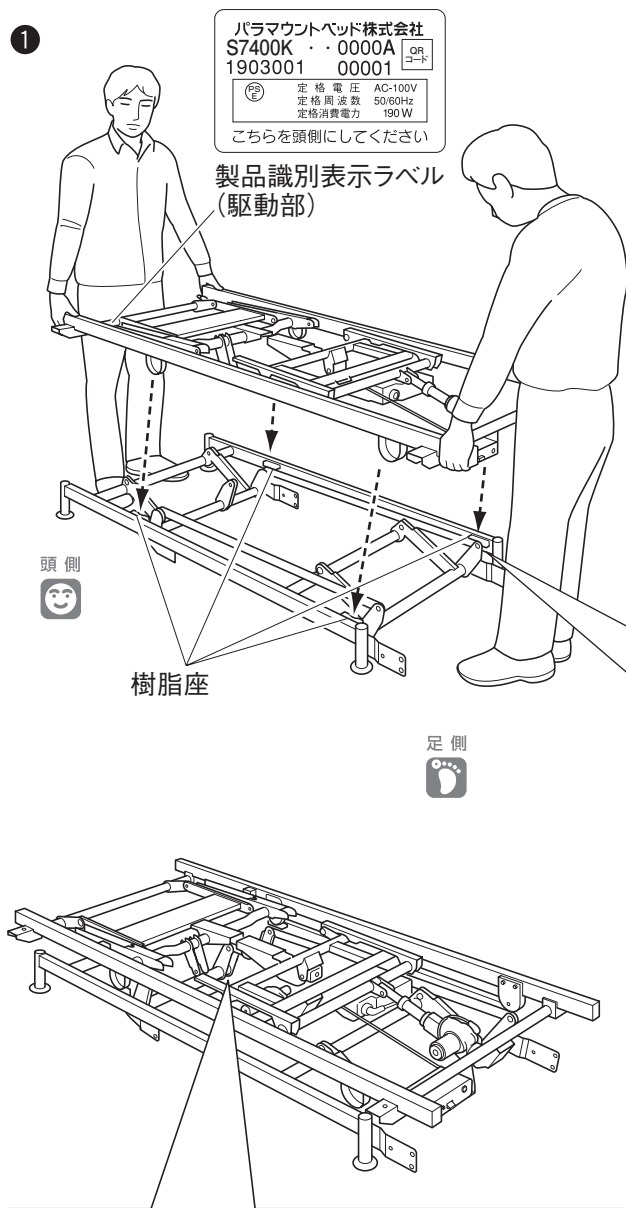
②ハイローリンク金具を固定しているバンドをカッターなどで取外し、ハイローリンク金具を図のようにすべて足側に倒れるよう静かにゆかに置いてください。(4ヶ所)



- バンドを取外す際は、必ずハイローリンク金具を手で支えてください。落下してゆかを傷つけるおそれがあります。
- ハイローリンク金具は必ず指定の向き(足側)に倒してください。

2. 駆動部の取付け

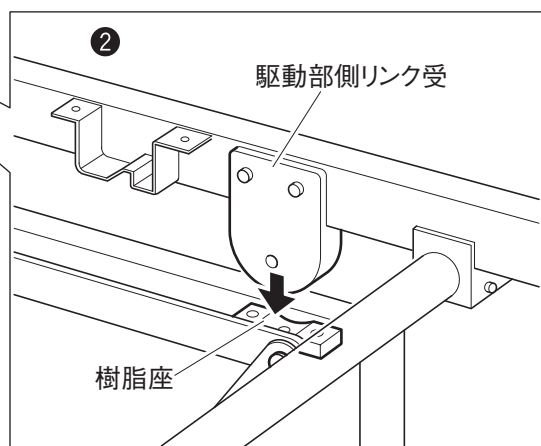
①



● 駆動部は「製品識別表示ラベル」が貼ってある側を頭側にしてください。

① 駆動部を図のように（梱包状態から駆動部をひっくり返して）2人で持ってください。

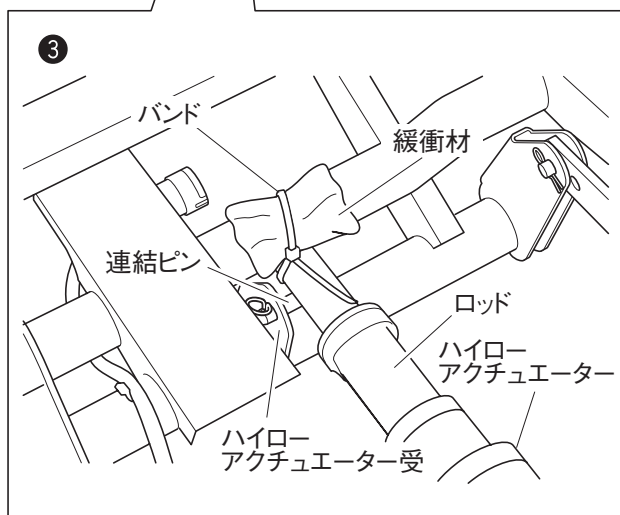
②



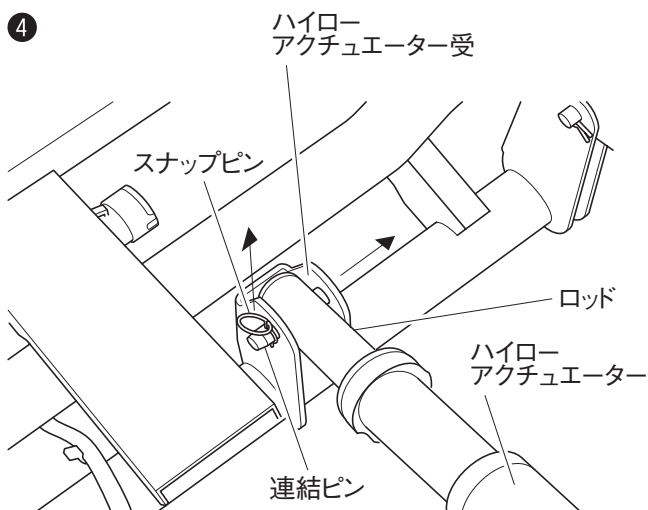
② 駆動部側リンク受を、台車の樹脂座に載せてください。（4ヶ所）

③ ハイローアクチュエーターのロッド先端を固定しているバンドを切り、緩衝材を外して、ロッドをハイローアクチュエーター受に付いている連結ピンの上に静かに置いてください。

③



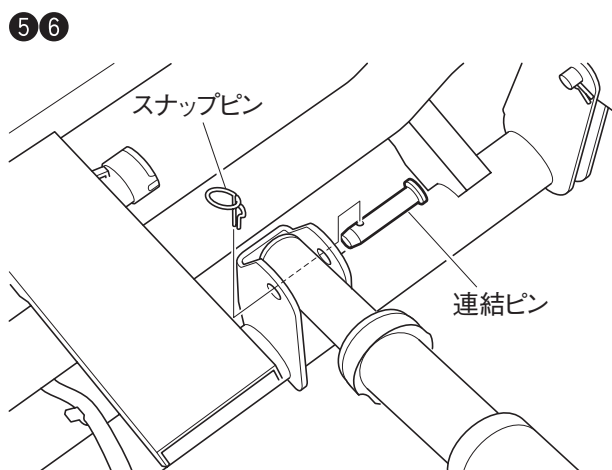
2. 駆動部の取付け



- ④ 連結ピン先端のスナップピンを抜いた後、ハイローアクチュエーターのロッドを手で支えながら、ハイローアクチュエーター受から連結ピンを引き抜いてください。

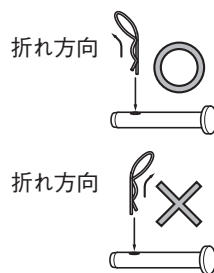


- 連結ピンを取外す際は、ハイローアクチュエーターのロッドをしっかりと支えて落下させないように注意してください。



- ⑤ ハイローアクチュエーターのロッド先端の穴とハイローアクチュエーター受の穴をあわせて、④で抜いた連結ピンを差込んでください。
- ⑥ 連結ピンの穴にスナップピンを差込んでください。

■スナップピンの差込み方向 ■スナップピンの使い方

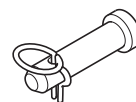


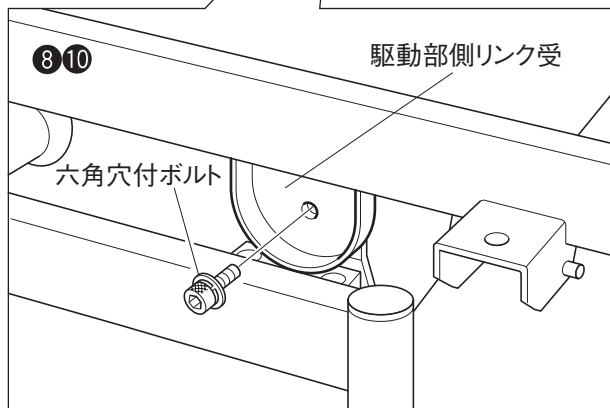
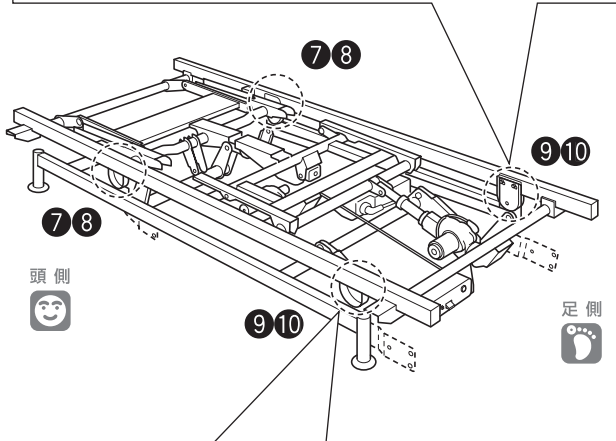
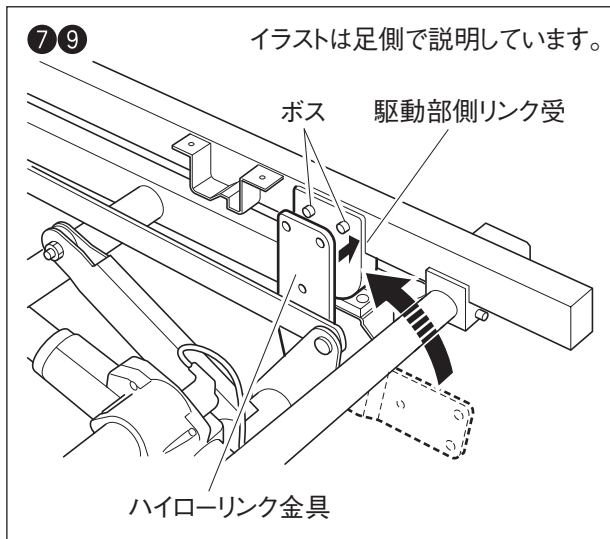
図の状態になるまで確実に差込んでください。



けい 告
こく

- スナップピン (Rピン) は連結ピンの穴に図の状態まで差込んでください。差込みが不完全な場合、ハイローアクチュエーターが外れ、けがをするおそれがあります。





●7 9の作業は、左右同時に行ってください。組立てにくくなる場合があります。

- 7 台車頭側のハイローリンク金具を立てて、駆動部側リンク受のポストに、ハイローリンク金具の2つの穴をはめこんでください。(2ヶ所)
- 8 駆動部側リンク受に、ベッド外側から付属の六角穴付ボルトを差込み、仮止めしてください。(2ヶ所)



●ボルトは必ずゆるみ止め付のボルトを使用してください。



- 9 台車足側のハイローリンク金具を立てて、駆動部側リンク受のポストに、ハイローリンク金具の2つの穴をはめこんでください。(2ヶ所)
- 10 駆動部側リンク受に、ベッド外側から付属の六角穴付ボルトを差込み、仮止めしてください。(2ヶ所)

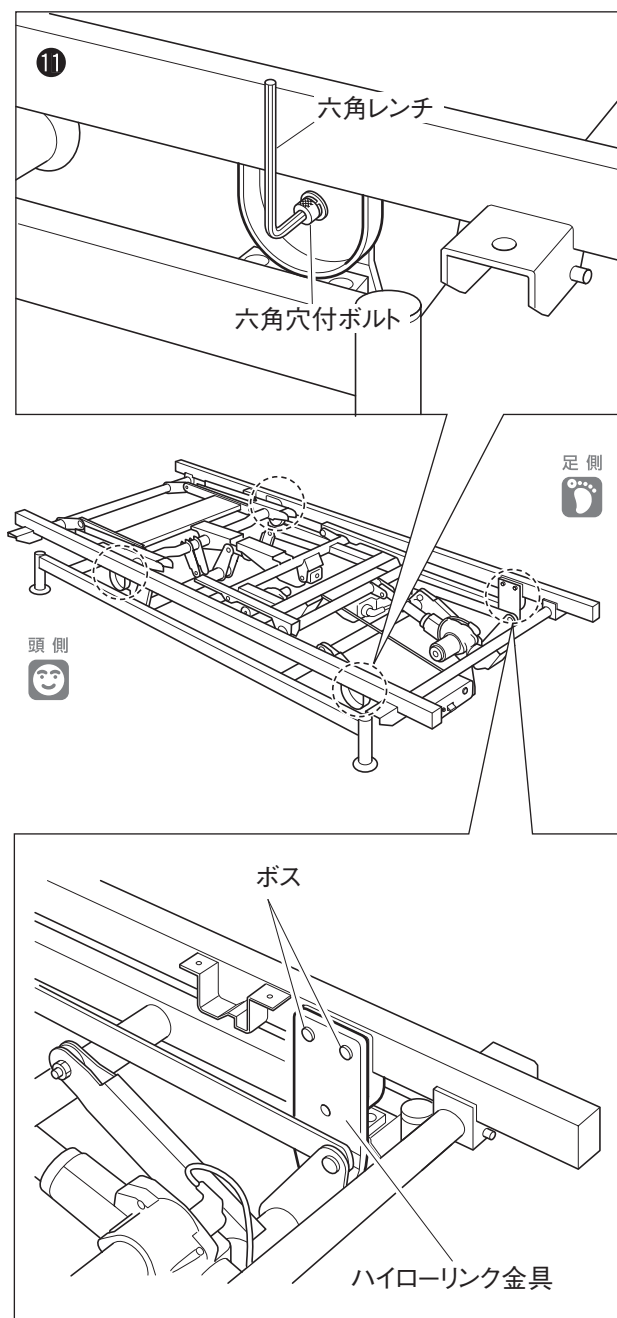


●ボルトは必ずゆるみ止め付のボルトを使用してください。



11 ベッドの組立方法

2. 駆動部の取付け



⑪ 付属の六角レンチで⑧と⑩で仮止めしたボルトをワッシャーがつぶれるまでしっかり締付け、駆動部側リンク受とハイローリンク金具を固定してください。(4ヶ所)



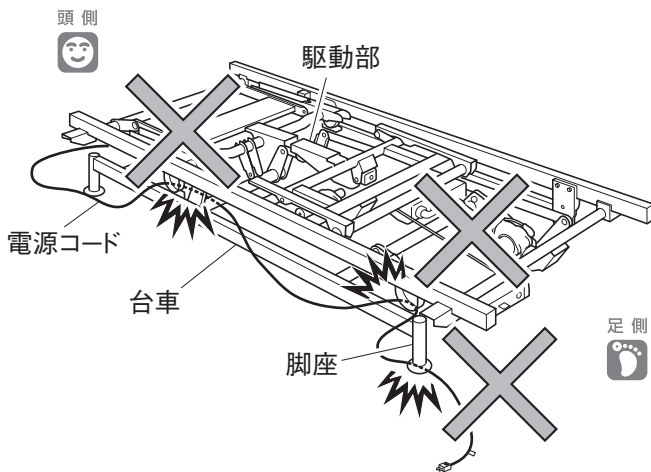
- ボルトを締付ける前に、駆動部側リンク受のボスがハイローリンク金具の穴にはまっていることを確認してください。
- 六角レンチでボルトを締付ける際は、力が十分入るように六角レンチの長い方を持って行ってください。



けい
警 告
こく

● ボルトを締め忘れると駆動部が落下し、けがをするおそれがあります。確実にボルトを差込み、しっかりと締付けてください。

3. 電源コードの確認



- ベッドの電源コードを止めている輪ゴムを外してください。
- 電源コードは脚座で踏まないように配線してください。
- 電源コードは台車と駆動部の間（内側）に入り込まないように配線してください。



けい
こく
警告

- 電源コードは正しく配線してください。断線や破損の原因となります。電源コードが破損すると感電・火災のおそれがあります。
- 取付作業上、リモコンによる電動操作が必要な場合以外は、コンセントから電源プラグを抜いてください。誤操作によりけがをすることがあります。

11 ベッドの組立方法

4. リモコンの ID 設定

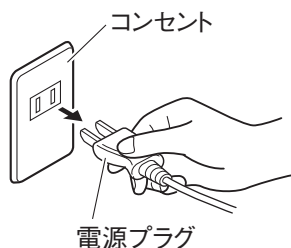
リモコン固有の ID コードをベッド本体に登録します。

ID コードを登録すると、リモコンでベッドを操作できるようになります。

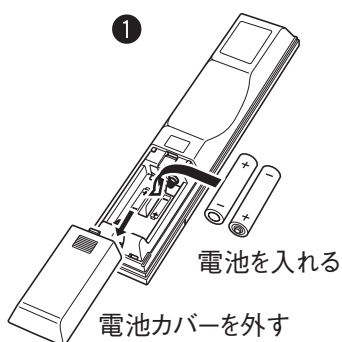


●リモコンを修理・交換した場合は再設定が必要です。

IDコードの登録手順



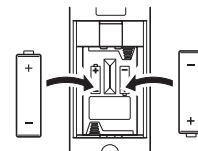
●電源プラグをコンセントに差込んでいる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、約 15 秒待ってから以下の作業を行ってください。



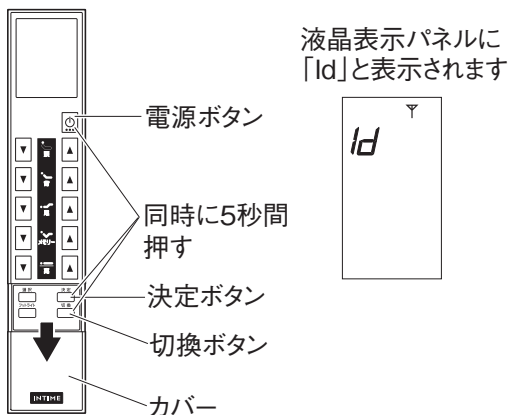
①リモコンに単三電池 2 本を入れてください。



●ケースに示される向きに従い、電池の+と-を間違えないように入れてください。



②



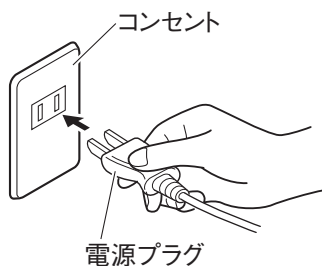
液晶表示パネルに「Id」と表示されます

②カバーをスライドさせ切換ボタンと決定ボタンを同時に押した状態で、電源ボタンを約 5 秒間押ししてください。

- ③ 表示が「Id**」
に変わるとIDを登録
する準備が整います



ベッドの電源プラグを
コンセントに差込んでください



- ③ 液晶表示パネルに「Id **」と表示されると、ID コードを登録する準備が整います。30 秒以内にベッドの電源プラグをコンセントに差込んでください。ID コードがベッドに登録されます。

※ Id ** の ** (下 2 桁) は、リモコン固有の数値が表示されます。



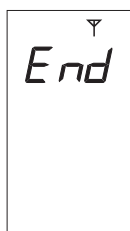
- 30 秒経過すると、リモコンの電源が OFF になります。このような場合は再度ベッドの電源プラグを抜いて、始めからやりなおしてください。

⚠ けい こく 警告

- ベッドを 2 台以上並べて設置する場合、1 台ずつ電源プラグをコンセントに差込んで ID コードの登録を行ってください。2 台以上同時に電源プラグをコンセントに差込んだまま登録すると 2 台以上のベッドに同時に同じ ID コードが登録されてしまいます。同じ ID コードが登録されると、1 個のリモコンで 2 台以上が同時に動作してしまい、ベッドにはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。

※このような場合は、それぞれベッドのリモコンの ID 設定を始めからやりなおして、再登録してください。

- ④ 登録終了



- ④ 液晶表示パネルに「End」と表示されると、ID コードの登録が終了です。



- 「End」と表示されない場合や ID を設定してもベッドが動作しない場合は、始めからやりなおしてください。

11 ベッドの組立方法

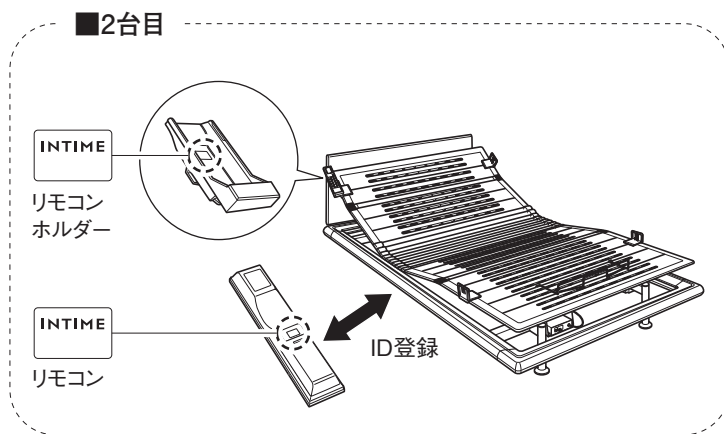
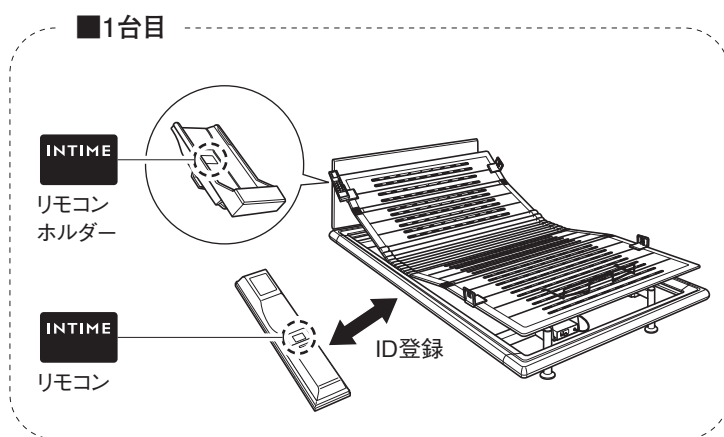
4. リモコンの ID 設定

- ⑤ 操作ボタンを押して、ベッドが動作することを確認してください。



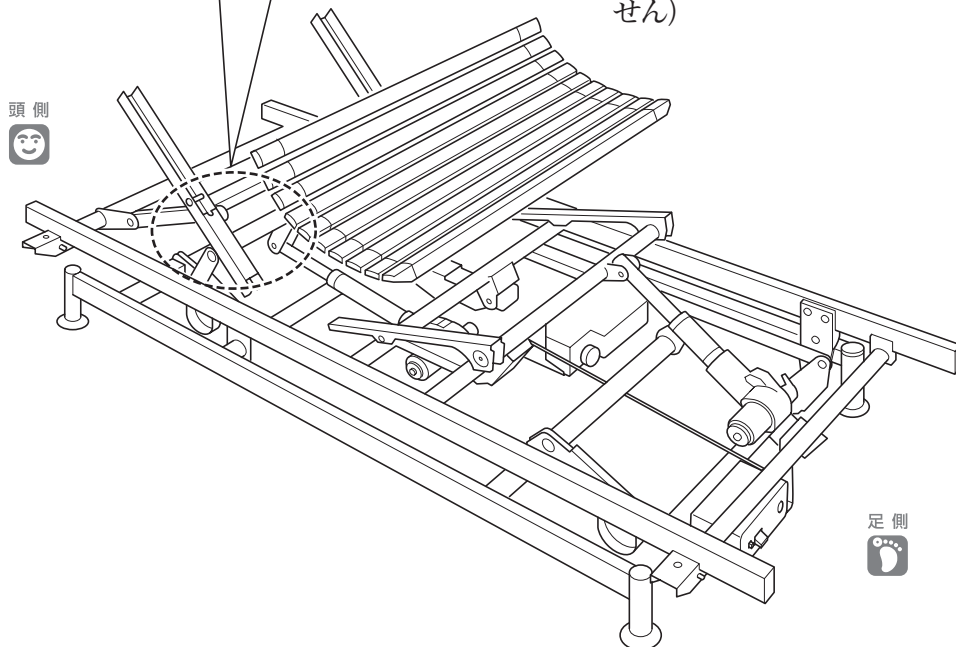
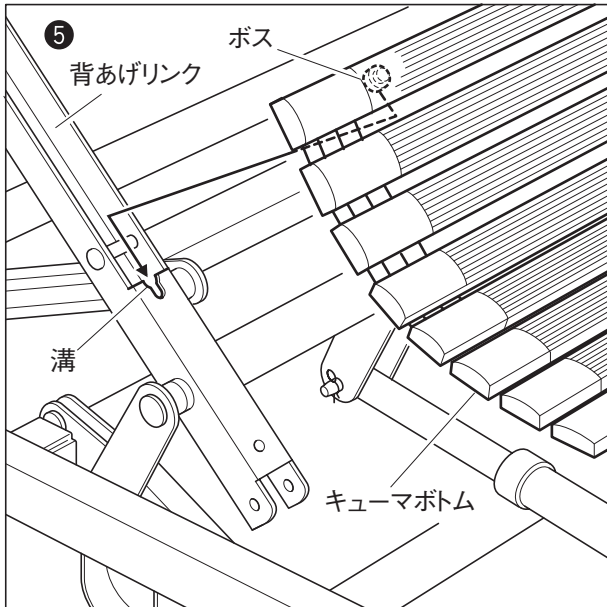
- ベッドの動作を確認する際、頭あげ以外のどの部位の動作確認を行っても構いません。

- 2 台並べてご使用いただく場合は、どちらのベッドにリモコンが対応しているか判別するために、ID コードを登録したベッドと同じ色の識別シールを貼付けてください。



- 同一の ID コードをもったベッドのみの操作ができます。別の ID コードをもったベッドの操作はできません。
- 3 台以上並べて使用する場合は、お客様にて識別シールに代わるものを用意いただき、ベッドをご使用ください。

5. キューマボトムを取付け



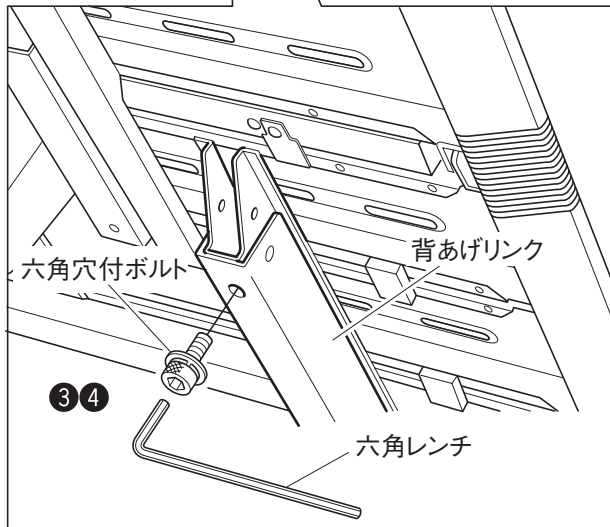
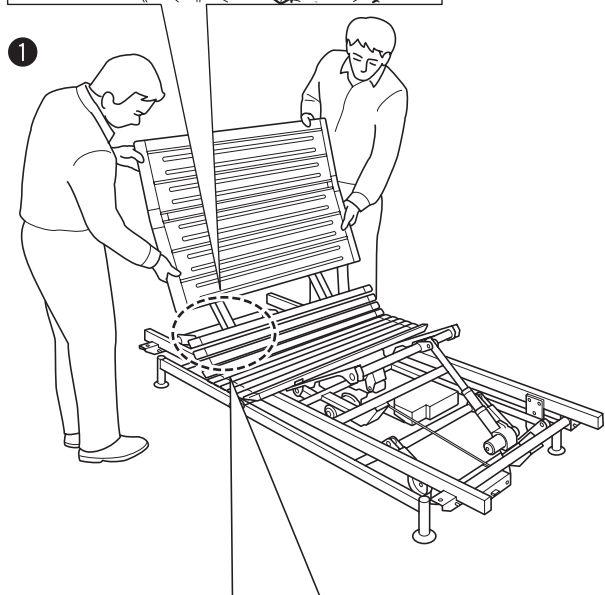
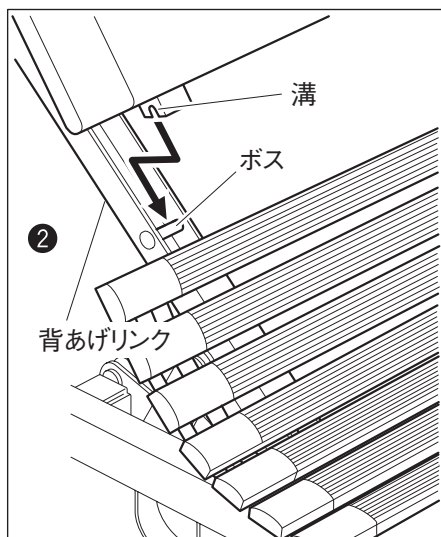
- ① 背あげリンクを固定している輪ゴムを取外してください。(2ヶ所)
- ② リモコンの背「▲」ボタンを押して、背を約50°まであげてください。
- ③ リモコンの足「▲」ボタンを押して、足を一番上(約30°)まであげてください。
- ④ 電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 電源プラグをコンセントから抜かずに作業を続けると、誤操作により、けがをすおそれがあります。

- ⑤ 背あげリンクの溝に、キューマボトムのボスを差込んでください。(2ヶ所)
(キューマボトムに頭側・足側の向きはありません)

6. 背ボトムを取付け



●背をあげたままの状態で作業してください。

- 1 背ボトムを図のように2人で持ってください。
- 2 背ボトムの溝を背あげリンクのボスに差込み、背ボトムを背あげリンクの方に倒してください。



●先に組み立てたキューマボトムが背あげリンクから外れていないことを確認してください。

- 3 背あげリンク裏面から付属の六角穴付ボルトを差込み、手で締めて仮止めしてください。(2ヶ所)



●ボルトはゆるみ止め付のボルトを使用してください。

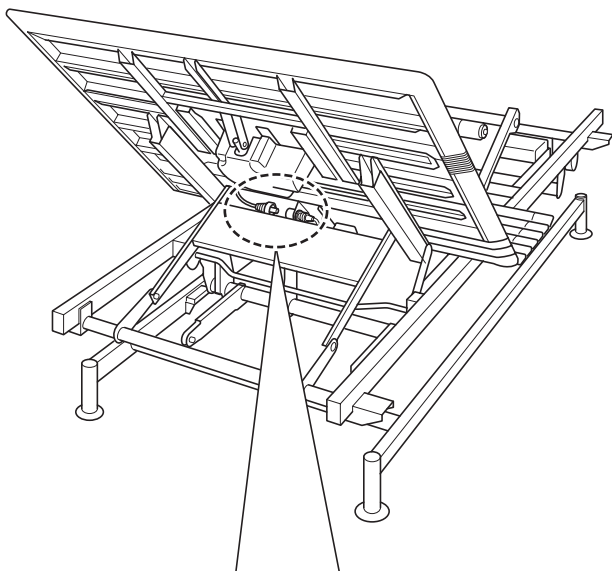
ゆるみ止め付のボルトはねじ部に緑のラインが入っています。



- 4 付属の六角レンチで、手締めしたボルトをワッシャーがつぶれるまでしっかり締付け、背ボトムを固定してください。



●六角レンチでボルトを締付ける際は、力が十分入るように六角レンチの長い方を持って行ってください。



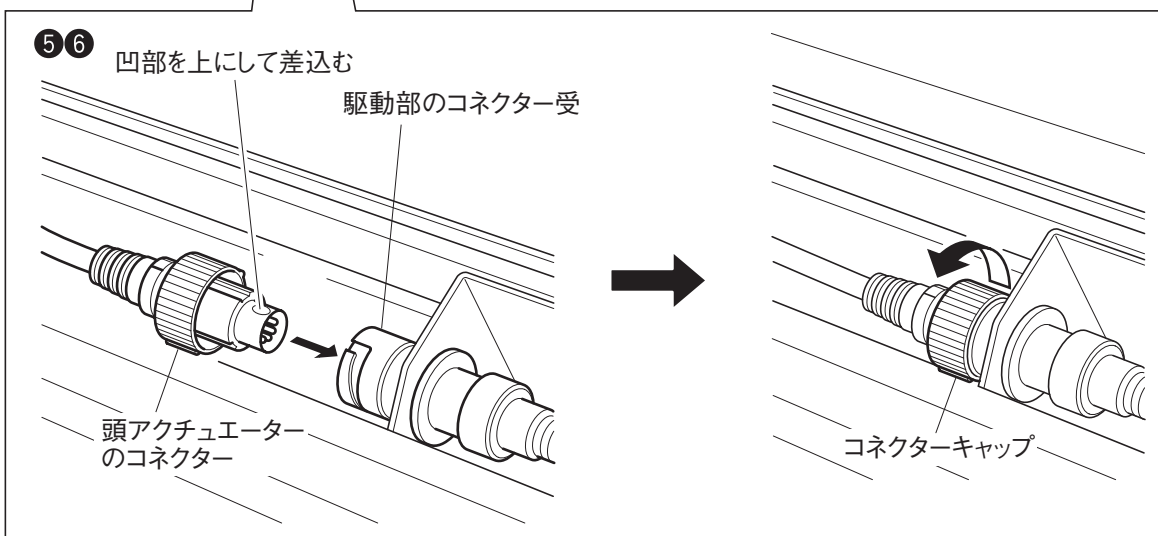
●電源プラグがコンセントから抜かれた状態になっていることを確認してください。

⑤ 駆動部のコネクタ受に、頭アクチュエーターのコネクタを凹部が上になるように差込んでください。

⑥ コネクタキャップをカチッと音が出るまで時計回りに回し、コネクタをロックしてください。



●コネクタが確実にロックされていることを確認してください。



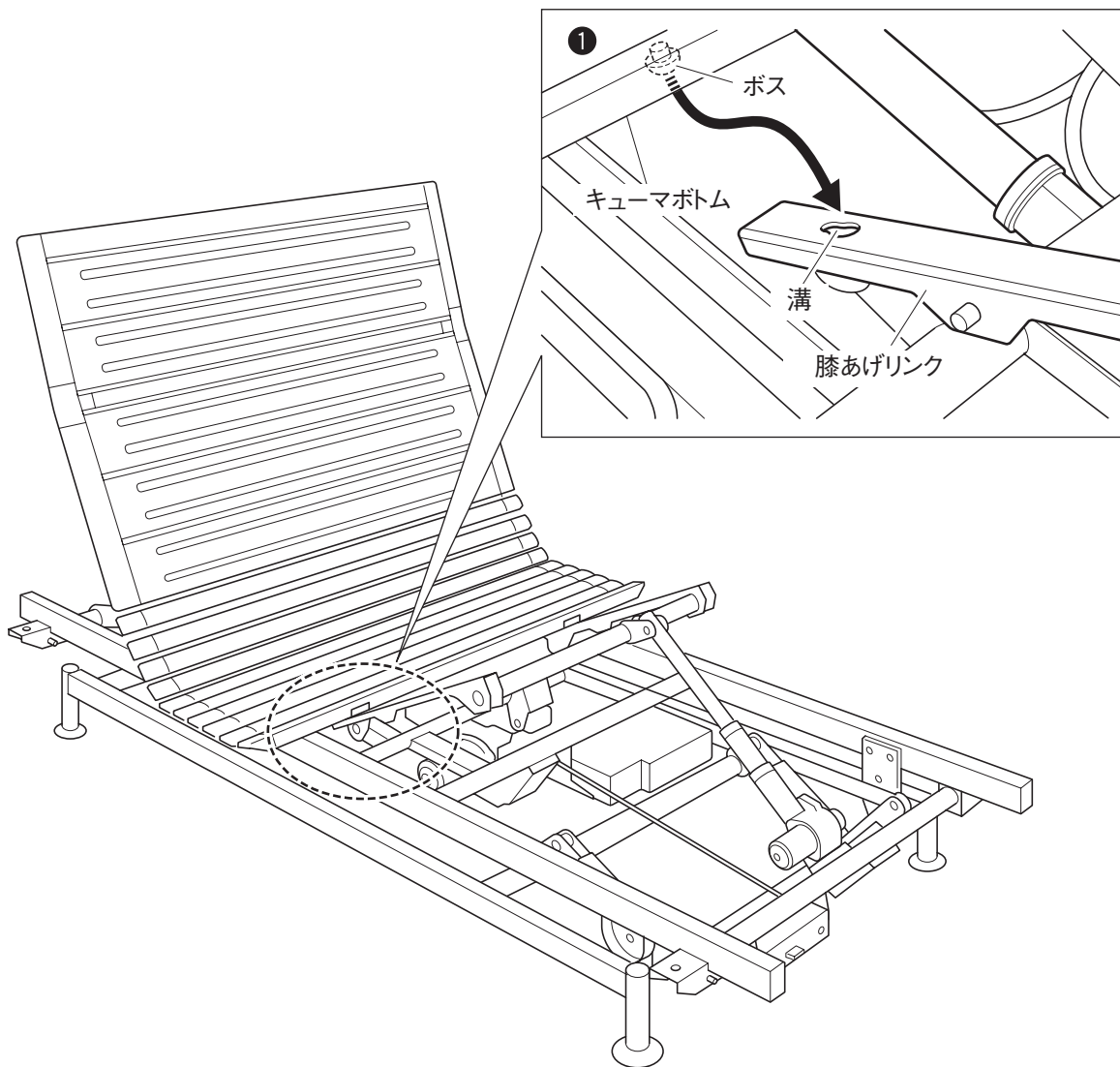
●コネクタとコネクタ受のあわせかた
上図の凹部を上にして差込んでください。

7. 膝・足ボトムを取付け



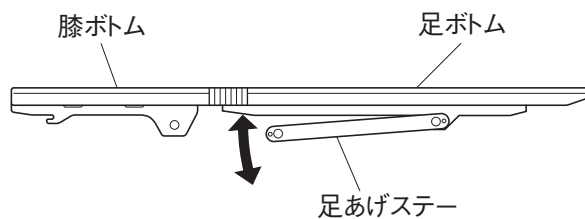
● 膝をあげたまま作業を行ってください。

- ① 膝あげリンクの溝に、キューマボトムのボスを差込んでください。(2ヶ所)



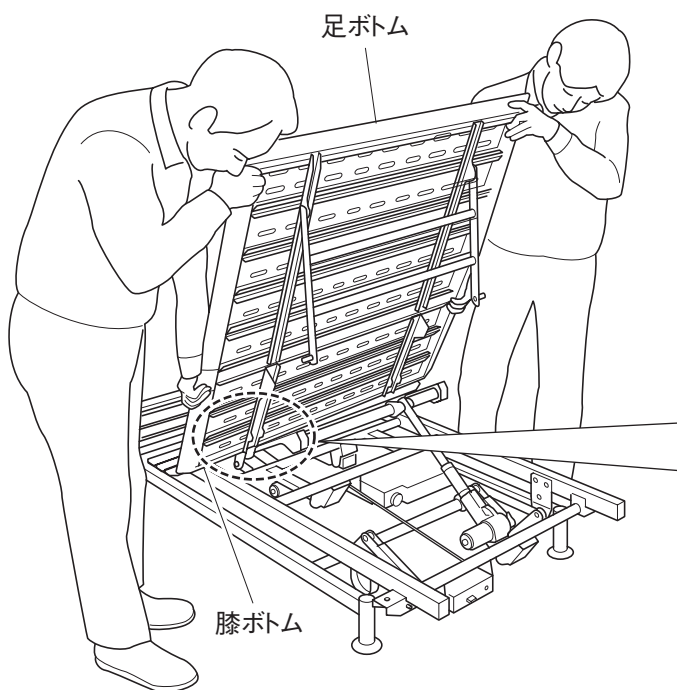
注意

- 膝・足ボトムは、ボルトでの締付けが完了するまでは、寄り掛かったり、体重をかけたりせずに支えてください。膝・足ボトムが落下してけがをするおそれがあります。
- 膝・足ボトムは図示した位置を確実に持ってください。別の場所を持つと、組立時に手をはさんでけがをするおそれがあります。
- 足あげステーは固定されていません。手などをはさむおそれがありますので取扱いに注意してください。



② 図のように、膝ボトムと足ボトムを両手で持ってください。必ず2人で行ってください。

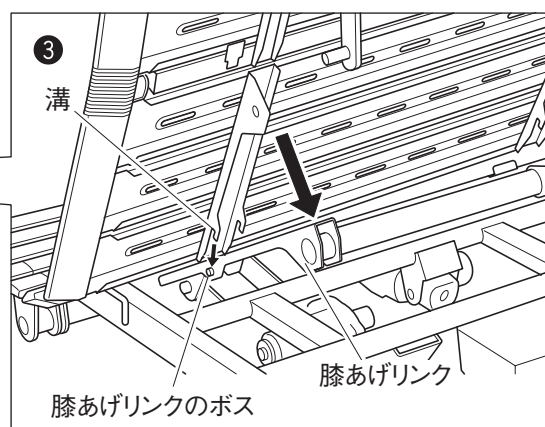
②



③ 膝ボトムの溝を膝あげリンクのボスに差込み、膝ボトムを膝あげリンクに載せてください。(2ヶ所)

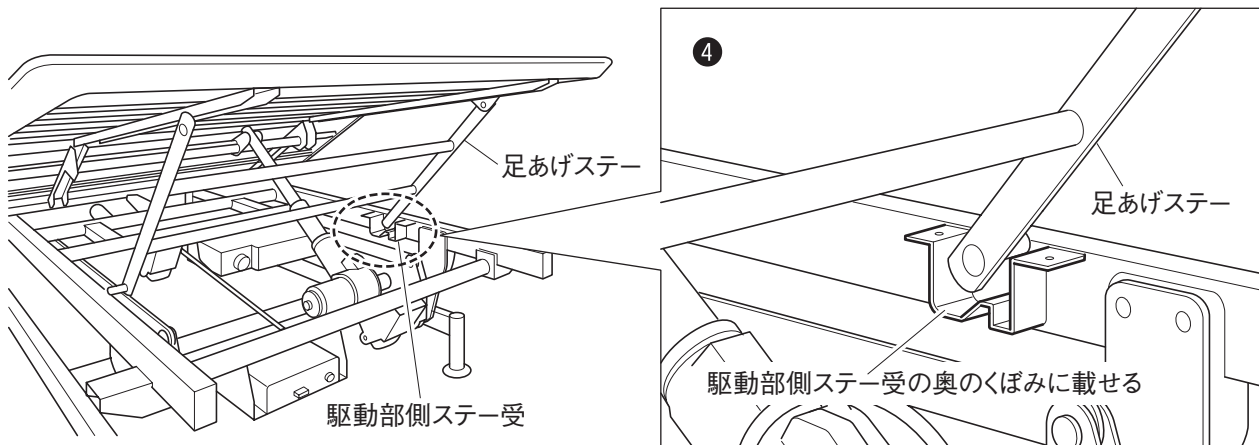


● 先に組立てたキューマボトムが膝あげリンクから外れていないことを確認してください。

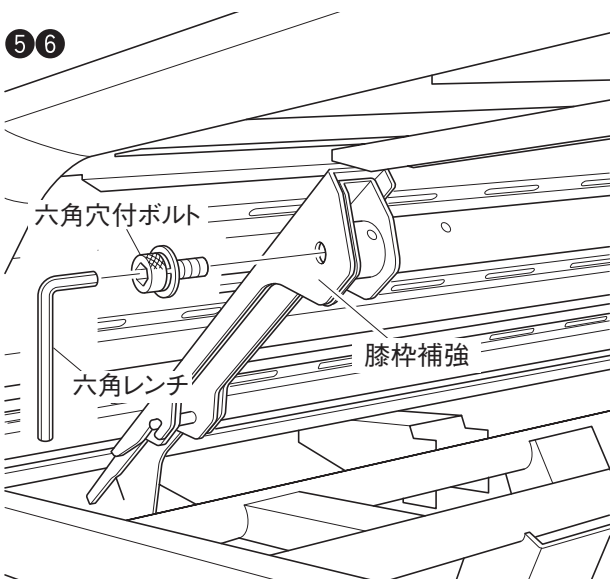


7. 膝・足ボトムを取付け

- ④ 足あげステー先端を図のように駆動部側ステー受の奥のくぼみに載せてください。
(2ヶ所)



- 足あげステーは確実に指定の場所に載せてください。載せ方が不十分な場合や、間違った場所に載せた場合、膝・足ボトムが不意に落下してけがをしたり、ベッドが破損するおそれがあります。
- 膝・足ボトムは、ボルトでの締付けが完了するまでは、寄り掛かったり、体重をかけたりせずに支えてください。膝・足ボトムが落下してけがをするおそれがあります。

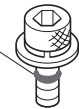


- ⑤ 膝枠補強にベッド外側から付属の六角穴付ボルトを差込み、手で締めて仮止めしてください。(2ヶ所)



- ボルトはゆるみ止め付のボルトを使用してください。

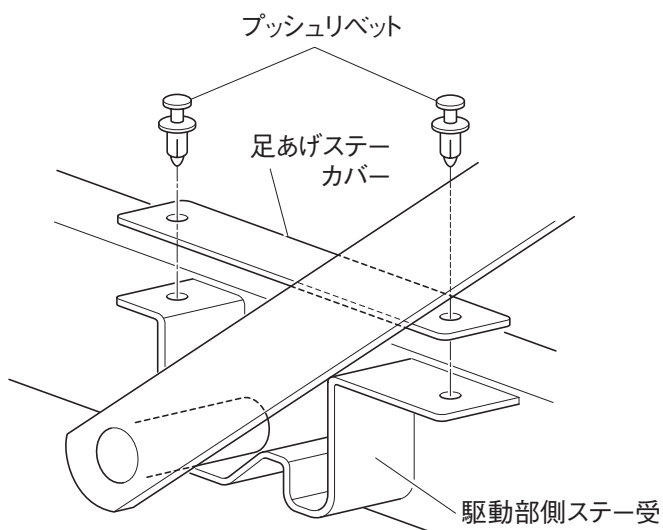
ゆるみ止め付のボルトはねじ部に緑のラインが入っています。



- ⑥ 付属の六角レンチを使って手締めしたボルトをワッシャーがつぶれるまでしっかり締付け、膝ボトムを固定してください。

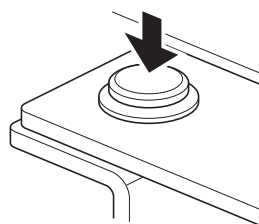


- 六角レンチでボルトを締付ける際は、力が十分入るように六角レンチの長い方を持って行ってください。



- ⑦足あげステー先端が駆動部側ステー受の奥のくぼみに入っていることをもう一度確認してから、左右の駆動部側ステー受に足あげステーカバーを取付け、プッシュリベットで固定してください。(4ヶ所)

【プッシュリベットの取付けかた】



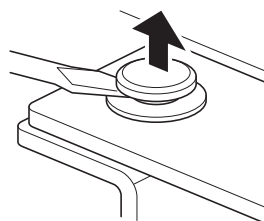
- プッシュリベットの頭の部分を押し込んでください。



ちゅうい
注意

- 足あげステーカバーは確実に取付けてください。取付けや固定が不十分な場合、足あげステーが外れて足ボトムが不意に落下してけがをしたり、ベッドが破損するおそれがあります。

【プッシュリベットの取外しかた】

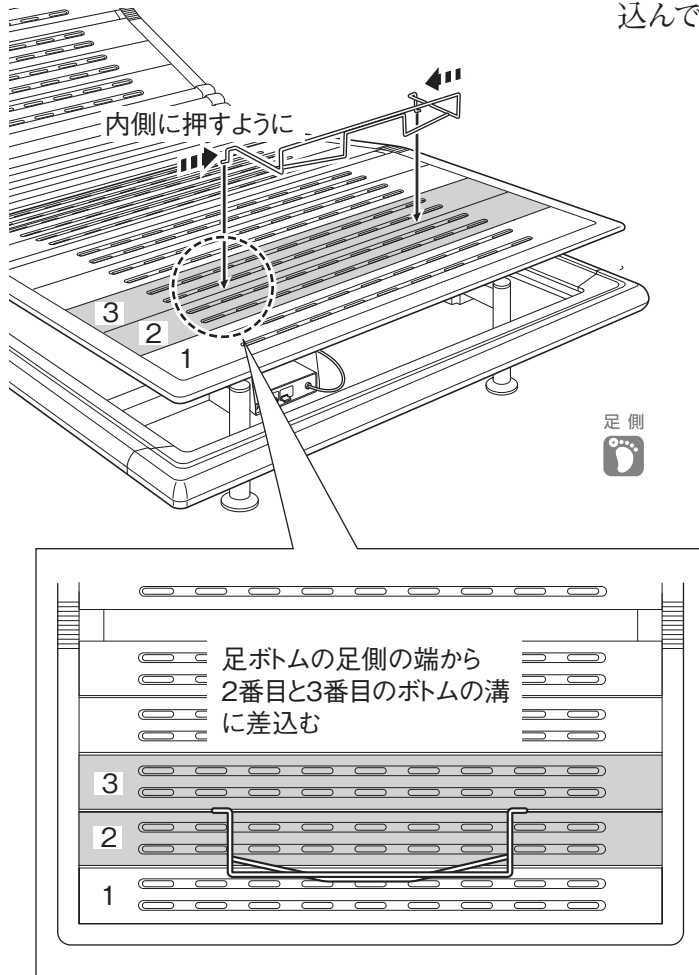


- 図のように、マイナスドライバーなどを差込んで、プッシュリベットの頭の部分を引きあげてください。

8. マットレス止めの取付け

【マットレス止め (大)】

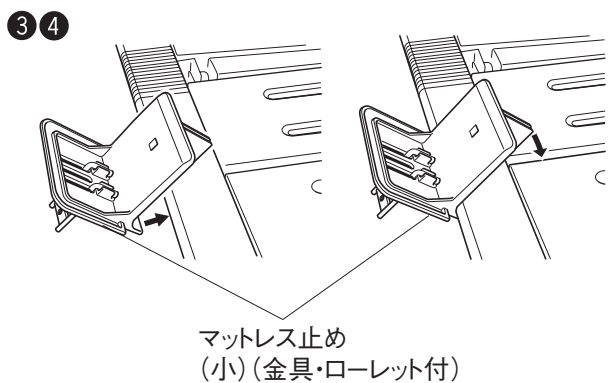
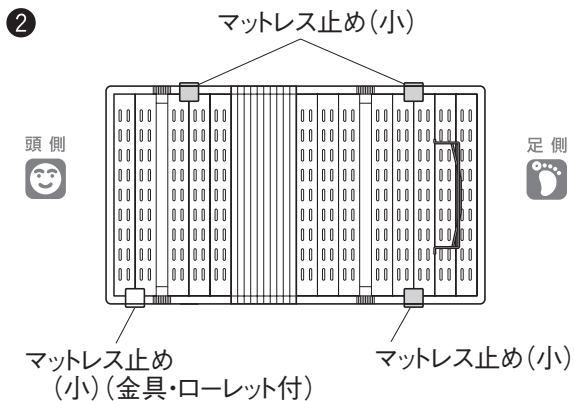
- マットレス止め (大) の先端を内側に押しながら、左右片側ずつ足ボトムの図の位置に差込んでください。



【マットレス止め (小) (金具・ローレット付) ・マットレス止め (小)】

【推奨取付け位置】

例：右側にリモコンホルダーを取付ける場合



① リモコンホルダーを取付ける位置を決めてください。

② 左記の推奨位置を参考にマットレス止め (小) を取付ける位置を決めてください。

③ マットレス止め (小) (金具・ローレット付) を ① で決めた位置のボトム端に、マットレス止め (小) を ② で決めた位置のボトム端にそれぞれあてがってください。

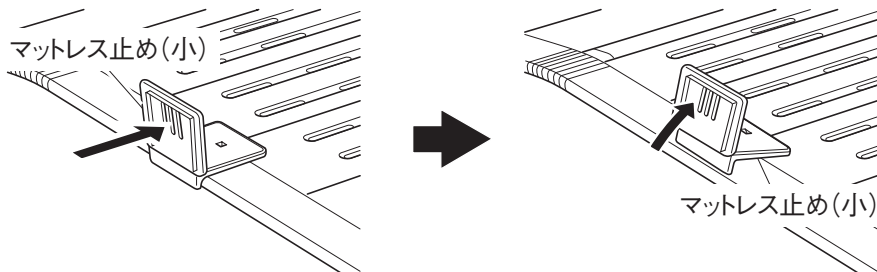
④ マットレス止め (小) (金具・ローレット付) ・マットレス止め (小) を内側に倒し、突起部をボトム溝にはめ込んでください。



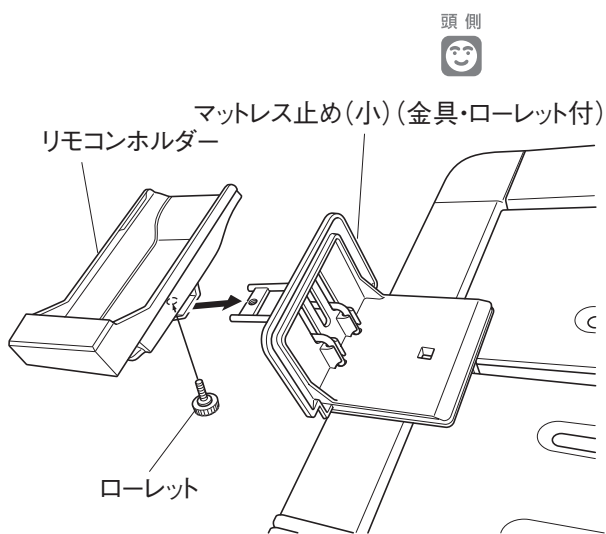
● マットレス止め (小) (金具・ローレット付) ・マットレス止め (小) 取付け後、内側から軽く押し、確実に取付いていることを確認してください。

【マットレス止め (小) の外しかた】

● 正面から斜め上に押しあげてください。



9. リモコンホルダーの取付け



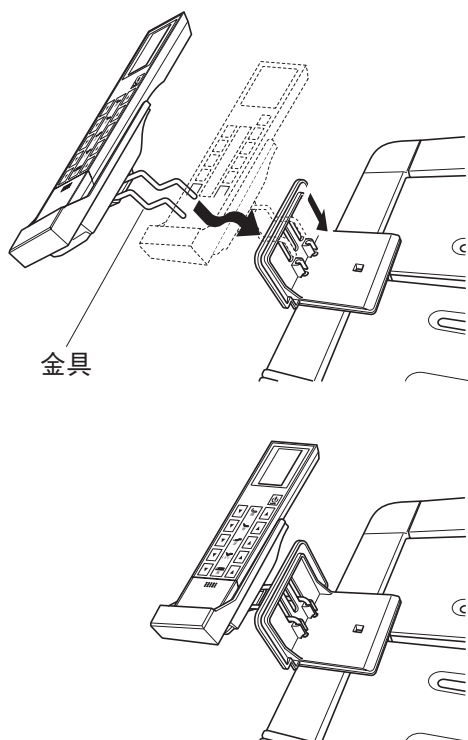
- ① マットレス止め(小)(金具・ローレット付) から一旦ローレットを外し、リモコンホルダーを取付けて、再度ローレットで固定してください。



- 取付け後、リモコンホルダーを軽く押して、確実に取付いていることを確認してください。
- リモコンホルダーは、頭側からリモコンを格納できる向きに取付けてください。向きをまちがえると背や頭をあげた際にリモコンがリモコンホルダーから落下し、破損するおそれがあります。

【リモコンホルダーが外れた場合の取付けかた】

■ リモコンホルダーは、接触によるけがを予防するために、強い衝撃が加わると外れるようになっています。



- 図のようにリモコンホルダーの金具をマットレス止め(小)の穴へ、「パチッ」とはまるまで差込んでください。

10. フレームとボードの取付け

アルミフレーム・クッションボード

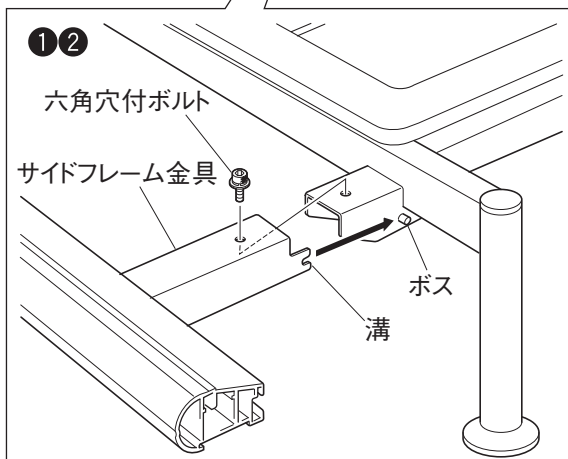
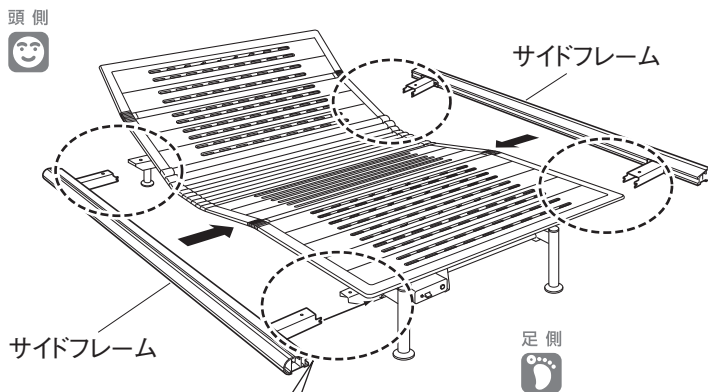


- 組立中にサイドフレームの端部に触れないでください。指を切るなどのけがをするおそれがあります。



- 背と膝をあげたままの状態で作業してください。

- ① サイドフレーム金具の溝が駆動部のボスにはまるように、サイドフレームを駆動部に載せてください。(4ヶ所)



- ② サイドフレーム金具の上からフレームセットに付属する六角穴付ボルトを差込み、サイドフレームが落下しない程度に手で締めて仮止めしてください。(4ヶ所)



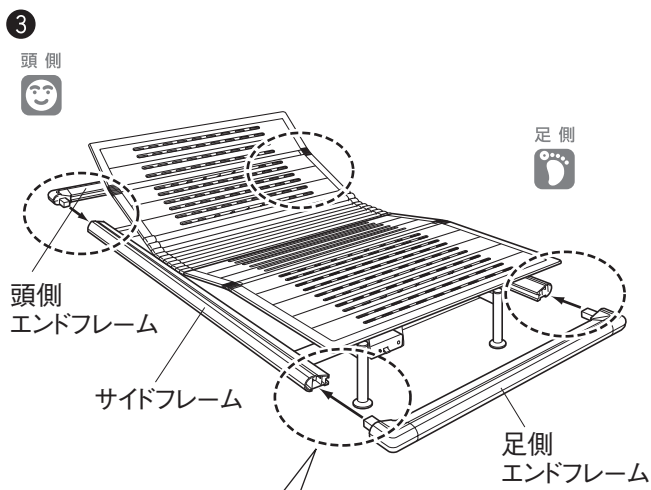
- この時点でボルトをしっかり締めてしまうと、エンドフレームやボードが取付けられない場合があります。



- 仮止め状態のサイドフレームに寄り掛かったり、体重をかけたりしないでください。サイドフレームが落下して、けがをするおそれがあります。

10. フレームとボードの取付け

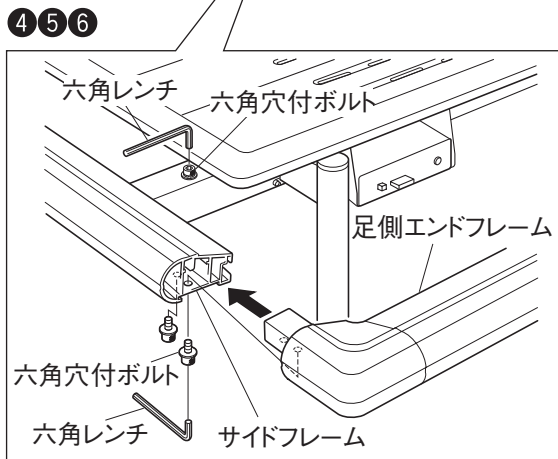
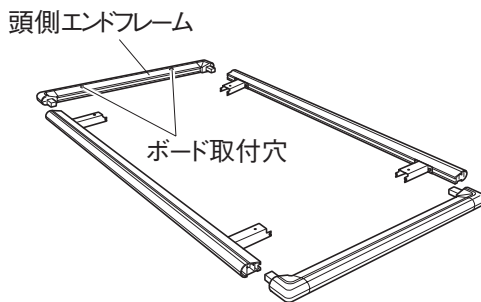
アルミフレーム・クッションボード



- ③ 頭側エンドフレームと足側エンドフレームの両端を、サイドフレームの端部に差込んでください。



● 頭側エンドフレームにはボード取付穴があります。

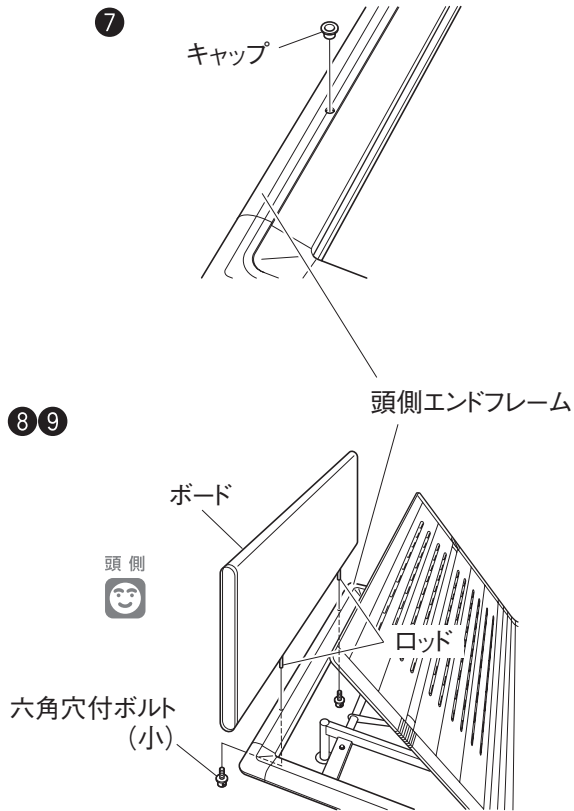


- ④ サイドフレームの下からフレームセットに付属の六角穴付ボルトを差込み、手で締めて仮止めしてください。(8ヶ所)
- ⑤ ④で手締めしたボルトを、駆動部に付属の六角レンチを使って、ワッシャーがつぶれるまでしっかり締付けてください。
- ⑥ ②で手締めしたサイドフレームのボルトを駆動部に付属の六角レンチを使ってワッシャーがつぶれるまでしっかり締付け、サイドフレーム、頭側エンドフレーム、足側エンドフレームを固定してください。



● 六角レンチでボルトを締付ける際は、力が十分入るように六角レンチの長い方を持って行ってください。

ボードありの場合



- ⑦ 頭側エンドフレームのボード取付穴のキャップを取外してください。
- ⑧ ボードのロッドを頭側エンドフレームの取付穴に差し込み、下からロッド先端に、ボードセットに付属の六角穴付ボルト (小) を差し込み、手で締めて仮止めしてください。
(2ヶ所)



● ボードのロッドは奥まで確実に差込んでください。

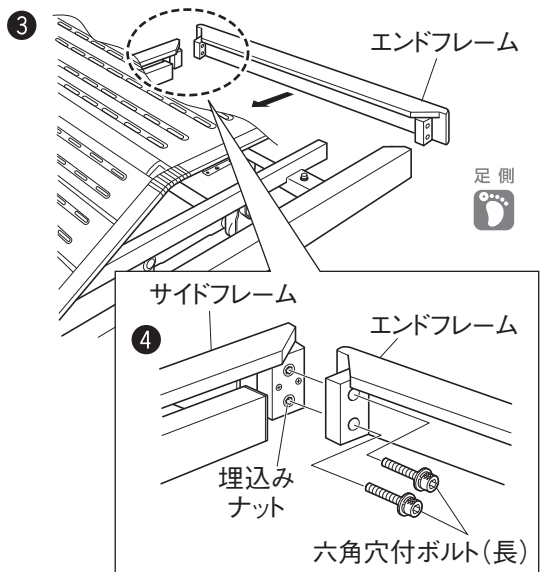
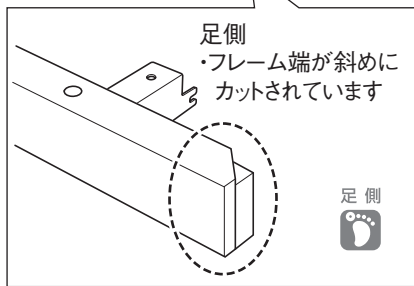
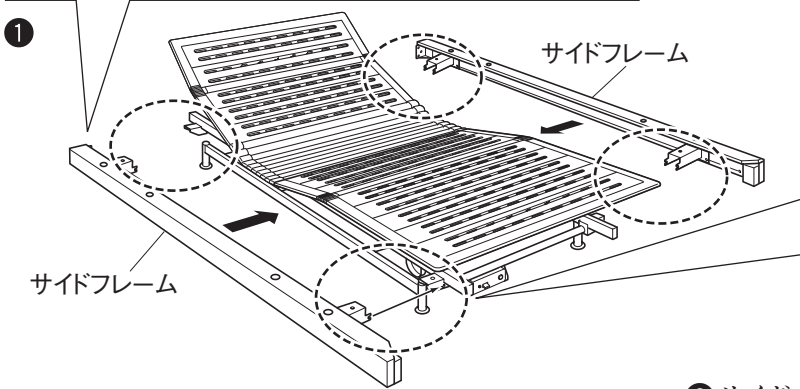
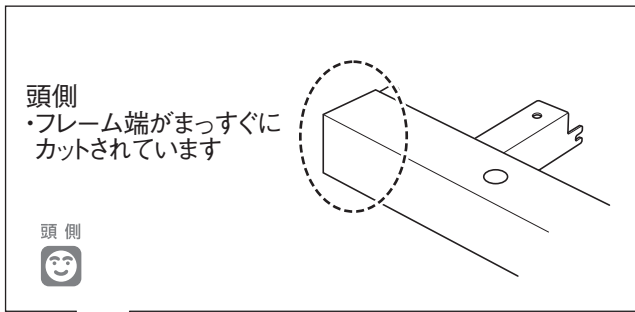
- ⑨ ⑧で手締めしたボードのボルトを、ボードセットに付属の六角レンチ (小) を使って、ワッシャーがつぶれるまでしっかり締付け、ボードを固定してください。



- 六角レンチ (小) でボルトを締付ける際は、力が十分入るように六角レンチの長い方を持って行ってください。
- ボードなしの場合は、頭側エンドフレームのボード取付穴のキャップは保護のため取外さずにご使用ください。
- ボードを取付けた場合、ボード取付穴のキャップは不要になります。

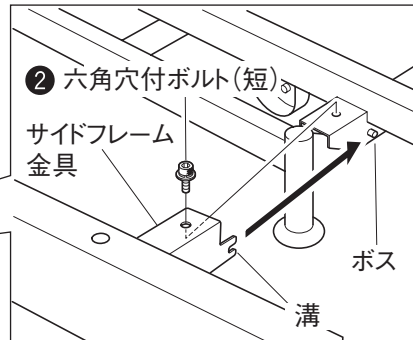
11. フレームとボードの取付け

木製フレーム・木製ボード



●背と膝をあげたままの状態で作業してください。

① サイドフレームの頭側・足側の向きに気を付けながら、サイドフレーム金具の溝が駆動部のボスにはまるように、サイドフレームを駆動部に載せてください。(4ヶ所)



② サイドフレーム金具の上から、フレームセットに付属の六角穴付ボルト(短)を差込み、サイドフレームが落下しない程度に手で締めて仮止めしてください。(4ヶ所)



●この時点でボルトをしっかり締めてしまうと、エンドフレームやボードが取付けられない場合があります。

③ サイドフレームとエンドフレームをはめ合わせてください。

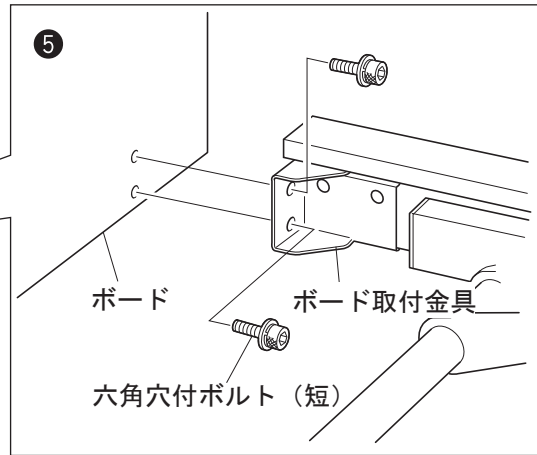
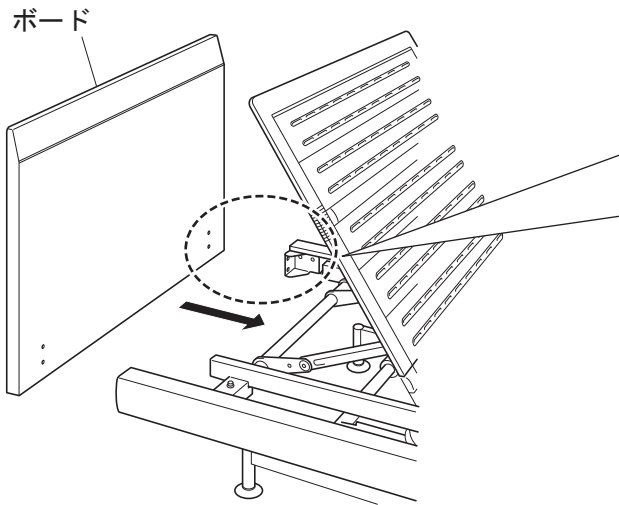
④ ベッド内側から、フレームセットに付属の六角穴付ボルト(長)を差込み、エンドフレームが落下しない程度に手で締めて仮止めしてください。(4ヶ所)



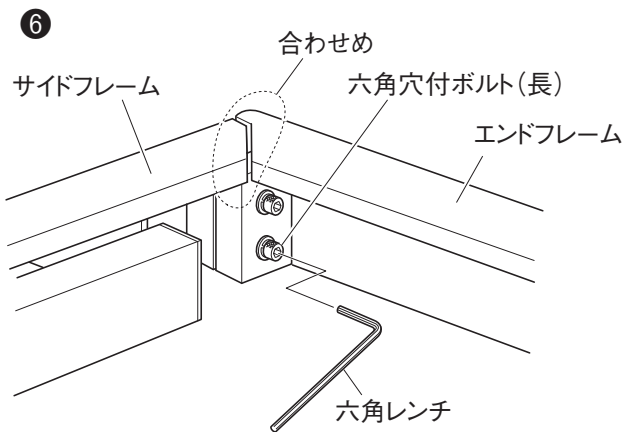
●この時点でボルトをしっかり締めてしまうと、ボードが取付けられない場合があります。

注意

●仮止め状態のサイドフレームやエンドフレームに寄り掛かったり、体重をかけたりしないでください。サイドフレームやエンドフレームが落下して、けがをするおそれがあります。

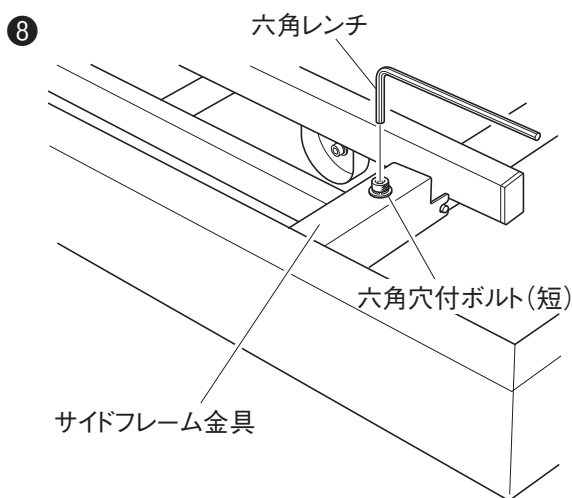


- ⑤ ボード取付金具とボードの穴の位置をあわせ、ベッドの内側から、ボード取付金具に、フレームセットに付属の六角穴付ボルト (短) を差込み、ボードが落下しない程度に手で締めて仮止めしてください。(4ヶ所)



● ボードの取付けは2人以上で行ってください。

- ⑥ ④で仮止めしたボルトを、駆動部に付属の六角レンチで、サイドフレームとエンドフレームの合わせめがずれないようにしながらワッシャーがつぶれるまでしっかり締付け、サイドフレームとエンドフレームを固定してください。



- ⑦ ⑤で仮止めしたボルトを、駆動部に付属の六角レンチで、ワッシャーがつぶれるまでしっかり締付け、サイドフレームとボードを固定してください。

- ⑧ ②で仮止めしたボルトを、駆動部に付属の六角レンチで、ワッシャーがつぶれるまでしっかり締付け、サイドフレームと駆動部を固定してください。



● 六角レンチでボルトを締付ける際は、力が十分入るように六角レンチの長い方を持って行ってください。

12 組立て後の点検

- ベッドの組立てが終わりましたら、ベッドに人が乗っていないことを確認のうえ、このチェックシートで点検してください。(63～67ページをコピーしてお使いください。)
- 定期点検の際も、このシートを使用してください。
- 異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、パラテクノコールセンター(78ページ参照)までお問い合わせください。
- キャスターなどのオプションを使用の場合は、各製品の「取扱説明書」に従って組立・点検を行ってください。



けい 告
警告

- 組立て後は点検を行ってください。組立てが不十分な状態で使用すると、けがや故障するおそれがあります。



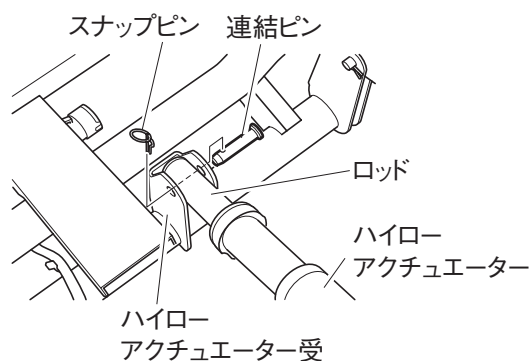
ちゅう い
注意

- 点検作業をしている際に異常音や振動が生じた場合には、すぐにベッドの使用を中止し、パラテクノコールセンター(78ページ参照)までご連絡ください。

1 ハイローアクチュエーターのロッドとハイローアクチュエーター受の連結

- 連結ピンにスナップピンが正しい向きで確実に差込まれていますか?

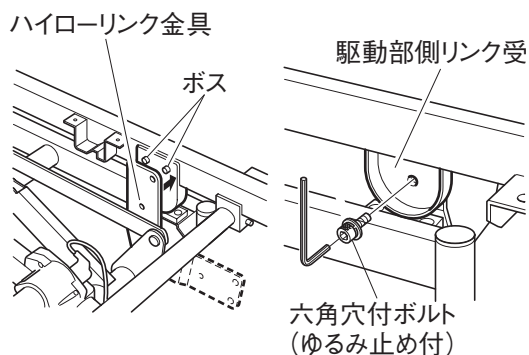
- はい
 いいえ→41ページ参照



2 駆動部の取付け

- 4ヶ所の駆動部側リンク受のボスがハイローリンク金具の穴に確実にハマり、ボルトはワッシャーがつぶれるまでしっかりと締付けられていますか?

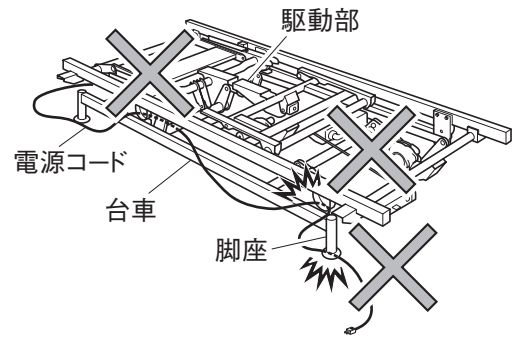
- はい
 いいえ→42ページ参照



3 電源コードの配線

- 可動部分と接触していませんか?
- 脚座で踏んでいませんか?

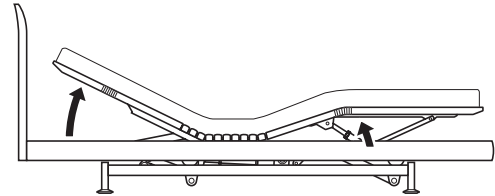
- はい
 いいえ→44ページ参照



4 リモコンのID設定

- リモコンで正しくベッドが動作しますか?

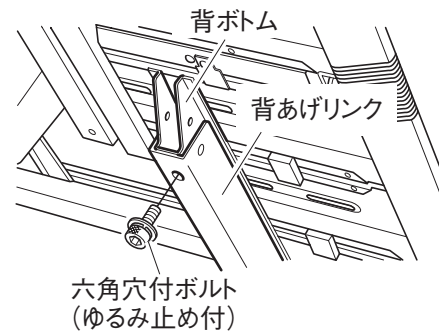
- はい
 いいえ→45ページ参照



5 背ボトム of 取付け

- ボルト(2ヶ所)はワッシャーがつぶれるまでしっかりと締付けられていますか?

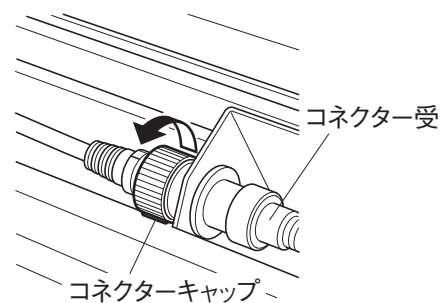
- はい
 いいえ→49ページ参照



6 頭アクチュエーターのコンネクターの取付け

- コネクターキャップが確実にロックされていますか?

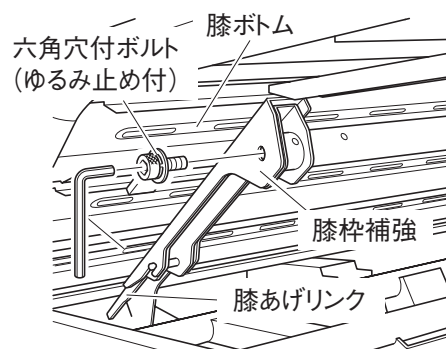
- はい
 いいえ→50ページ参照



7 膝ボトム取付け

- ボルト(2ヶ所)はワッシャーがつぶれるまでしっかりと締付けられていますか?

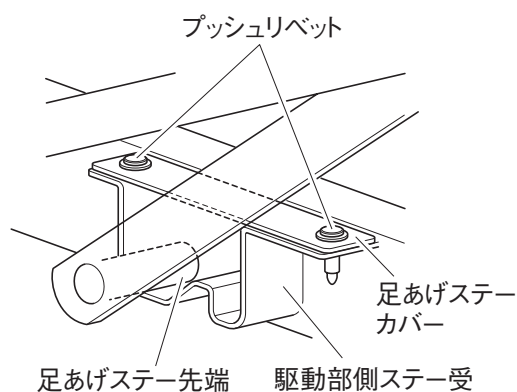
- はい
 いいえ→53ページ参照



8 足あげステーカバー取付け

- 足あげステー先端は駆動部側ステー受の奥のくぼみに入っていますか?
- 足あげステーカバーはきちんと固定されていますか?

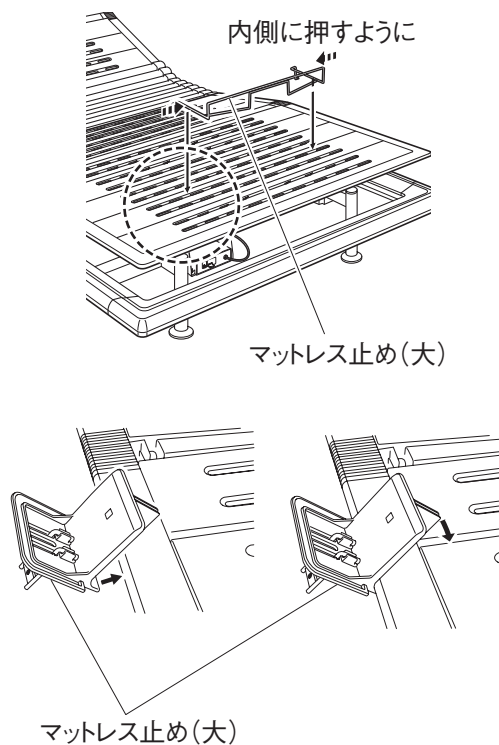
- はい
 いいえ→53・54ページ参照



9 マットレス止め(大・小)取付け

- マットレス止め(大)は足ボトムにはまっていますか?
- マットレス止め(大)の取付位置は正しいですか?
- マットレス止め(小)は頭ボトム、背ボトムと足ボトムにはまっていますか?

- はい
 いいえ→55・56ページ参照



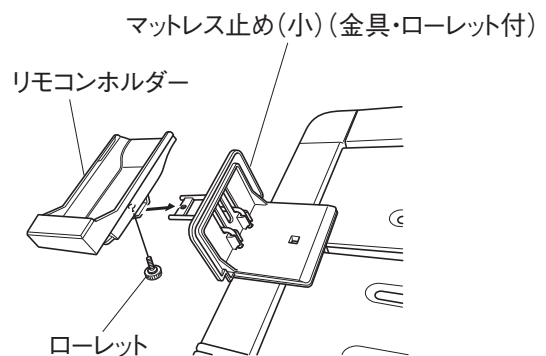
10 リモコンホルダーの取付け

- リモコンホルダーはきちんと取付けられていますか？

- はい
 いいえ→57ページ参照



- サイドレール・介助バーをご使用の場合はリモコンホルダーを取外してください。



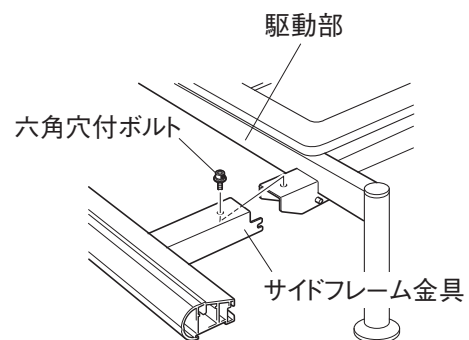
11 サイドフレームの取付け①

アルミフレーム

木製フレーム

- サイドフレーム金具と駆動部を固定しているボルト(4ヶ所)はワッシャーがつぶれるまでしっかりと締付けられていますか？

- はい
 いいえ→58・61ページ参照



12 サイドフレームの取付け②

アルミフレーム

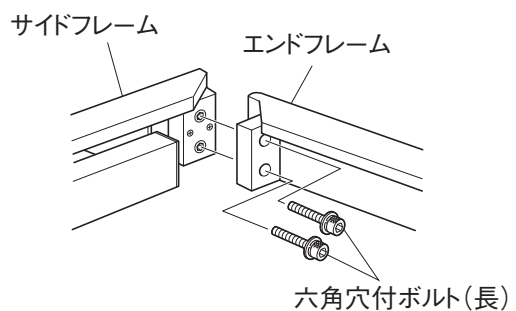
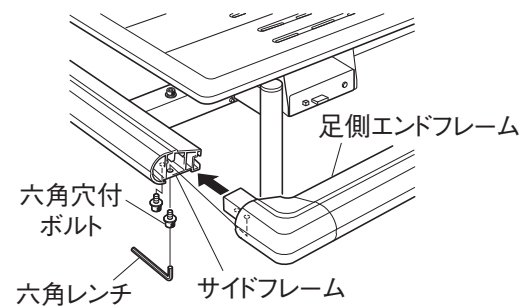
- サイドフレームと頭側・足側エンドフレームを固定しているボルト(8ヶ所)はワッシャーがつぶれるまでしっかりと締付けられていますか？

- はい
 いいえ→59ページ参照

木製フレーム

- サイドフレームとエンドフレームを固定しているボルト(4ヶ所)はワッシャーがつぶれるまでしっかりと締付けられていますか？

- はい
 いいえ→62ページ参照



13 ボードの取付け

クッションボード

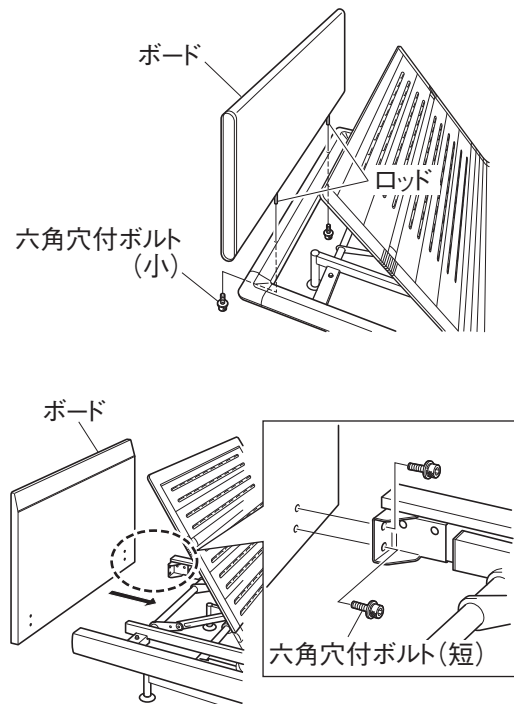
・ボルト(2ヶ所)はワッシャーがつぶれるまでしっかりと締付けられていますか?

- はい
 いいえ→60ページ参照

木製ボード

・ボルト(4ヶ所)はワッシャーがつぶれるまでしっかりと締付けられていますか?

- はい
 いいえ→62ページ参照



14 電源の確認

・電源プラグをコンセントに差込み、リモコンの電源ボタンを押すと、時刻が表示され▽マークが点灯しますか?

- はい
 いいえ→72ページ参照

15 障害物の確認①

・リモコンで高さを一番上まであげたとき、または一番上まであげる間に家具などに当たりませんか?

- 当たらない
 当たる→ベッドを移動するか、障害物を取り除いてください。

16 障害物の確認②

・高さを一番上にしたまま、背ボトム・膝ボトムを一番上まであげたとき、または一番上まであげる間に家具などに当たりませんか?

- 当たらない
 当たる→ベッドを移動するか、障害物を取り除いてください。

13 適合オプションについて



- オプションは正しい組合せを確認した上でご使用ください。誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。各オプションの品番は段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。
- 製品識別表示ラベル上は、S***、A***と表示されています。
例) S171Q → KS-171Q を示します。
- ※製品によっては、上記表示とは異なる場合があります。ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- 適合表に記載の適合品を使用してください。意図せぬすき間の発生や製品の破損・変形などにより、けがをするおそれがあります。
- 各オプションの取扱説明書をお読みください。

■適合表

ここでは、ベッドに取付けて使用するオプションのみを記載しています。

下表のオプション以外を使用する場合は、販売店または直接弊社までお問い合わせください。

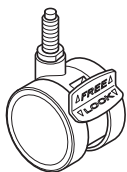
製品名	品番	ページ数
キャスター	RA-05	69
サイドグリップ	RA-02	69
ベッドサイドレール ※1)	KS-146B/C/M/W,KS-171Q,KS-176	69
ソフトカバー付ベッドサイドレール ※1)	KS-146BC/CC/MC/WC,KS-171QC,KS-176QC	—
クリアカバー付ベッドサイドレール ※1)	KS-146BT/CT/MT/WT,KS-171QT,KS-176QT	—
サクッとポケット付ベッドサイドレール ※1)	KS-171QAP/QBP/QCP	—
ソフトガードサイドレール ※1)	KS-019A	—
スイングアーム介助バー ※1)	KS-096A/B/D	69
ソフトカバー付スイングアーム介助バー ※1)	KS-096AC/BC/DC/ACL/BCL/DCL/ACS /BCS/DCS	—
サクッとポケット付スイングアーム介助バー ※1)	KS-096AP	—

※1) 木製フレーム・木製ボード機種のみ適合します。



- 仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。

1. キャスター



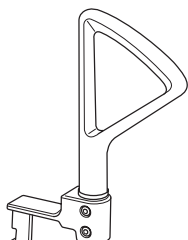
- ベッドに取付けることにより、お部屋内での配置換えや掃除をする際などのベッド移動を補助することを目的としています。

13 適合オプションについて



- 仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。
ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください

2. サイドグリップ

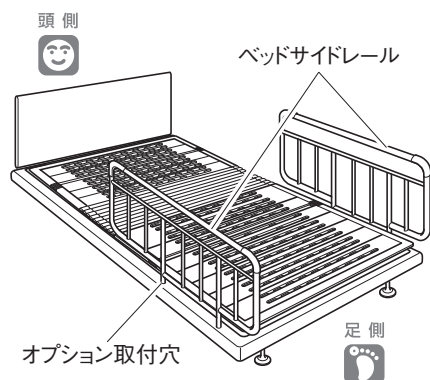


- ベッドに取付けてベッドからの起きあがりの補助を目的としています。



- ベッドサイドレール(別売)、スイングアーム介助バー(別売)とベッド同一側で一緒にご使用いただけません。

3. ベッドサイドレール (木製フレーム・木製ボード機種のみ適合)

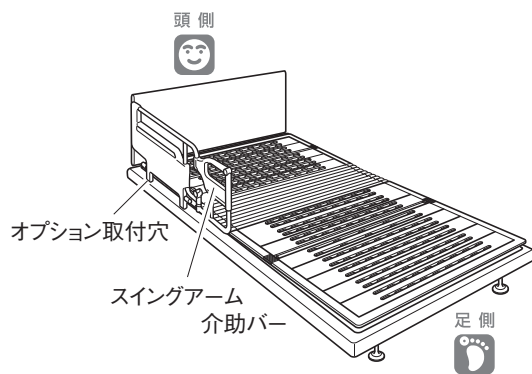


- ベッドサイドレールは、ベッドで寝ている方の転落予防、寝具の落下防止を目的としています。立ちあがり時など、支えとしてお使いになる場合はスイングアーム介助バーやサイドグリップをお使いください。
- ベッド両サイドのオプション取付穴を利用して、ベッドサイドレールが使用できます。
使用する場合はサイドフレームのオプション取付穴キャップを取外してください。(31 ページ参照)
- 使用する方の状態に応じてすき間を少なくしたソフトガードサイドレールや各種カバーをお使いください。



- リモコンホルダー(金具・ローレット含む)、サイドグリップ(別売)、スイングアーム介助バー(別売)とベッド同一側で一緒にご使用いただけません。(31 ページ参照)

4. スイングアーム介助バー (木製フレーム・木製ボード機種のみ適合)



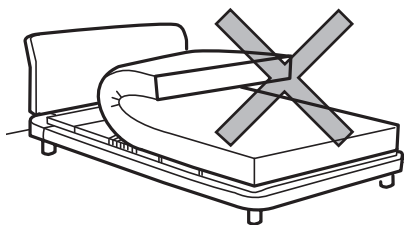
- スイングアーム介助バーは、ベッド上での起きあがりや、ベッドからの立ちあがりを補助することを目的としています。
- ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、スイングアーム介助バーが使用できます。使用する場合はサイドフレームのオプション取付穴キャップを取外してください。(31 ページ参照)
- 使用する方の状態に応じて、すき間を少なくした各種ソフトカバーをお使いください。



- リモコンホルダー(金具・ローレット含む)、サイドグリップ(別売)、ベッドサイドレール(別売)とベッド同一側で一緒にご使用いただけません。(31 ページ参照)

14 マットレス（別売）の使用法とご注意

⚠️ 警告



- このベッドには、弊社が指定する適合品のマットレスを組合せてご使用ください。弊社が指定する適合品以外のマットレスと組合せると、寸法や折れ曲がりの点で適合しないだけでなく、すき間にはさまれてけがをしたり、ベッドに負担をかけ、故障するおそれがあります。
- マットレスを通常のご使用状態以上に折り曲げないでください。ベッドやサイドレールなどとのすき間が広がり、身体の一部がはさまれてけがをするおそれがあります。
- マットレスを設置しない状態ではベッドを使用しないでください。ボトムのスき間や通気穴に手や足の指などがはさまれて、けがをするおそれがあります。

適合マットレス

■ワイドシングル

Styleport マットレス	●寸法：210（長さ）× 120（幅）× 15.5（厚さ）（cm） 質量：約 22kg
S シリーズマットレス	●寸法：210（長さ）× 120（幅）× 15.5（厚さ）（cm） 質量：約 19kg 品番：MW-7000
スマートスリープアクア	●寸法：210（長さ）× 120（幅）× 15.5（厚さ）（cm） 質量：約 21.5kg 品番：MW-C200L

■シングル

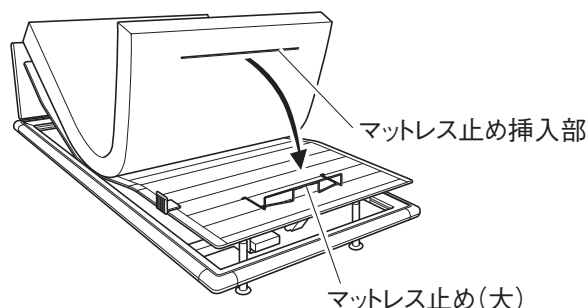
Styleport マットレス	●寸法：210（長さ）× 100（幅）× 15.5（厚さ）（cm） 質量：約 18kg
S シリーズマットレス	●寸法：210（長さ）× 100（幅）× 15.5（厚さ）（cm） 質量：約 16kg 品番：MS-7000
スマートスリープアクア	●寸法：210（長さ）× 100（幅）× 15.5（厚さ）（cm） 質量：約 19kg 品番：MS-C200L



- 仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。

設置方法

- マットレスの頭側・足側を確認し、足側のマットレス止め挿入部にマットレス止め（大）を差込んでください。



お手入れ



- 誤操作によるはさまれを予防するため、電源プラグをコンセントから抜いてお手入れを行ってください。
- ベッドに水をかけて掃除しないでください。ショートして感電するおそれがあります。

■汚れを落とす場合（ベッド本体）

- 下記①～③の手順で行ってください。
 - ①水で薄めた中性洗剤にひたした布をよくしぼって拭いてください。
 - ②水でひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取ってください。
 - ③乾いた布で残った水分を拭き取ってください。



- 揮発性のもの（シンナー、ベンジン、ガソリンなど）やクレゾールは使用しないでください。変色・変質するおそれがあります。



- 中性洗剤を使用した場合は、その後水拭きをしてください。水拭きをしないと樹脂の部分が割れるおそれがあります。

■オプションなど

- 各オプションに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

■マットレスなど

- マットレスに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

16故障かな？と思ったら

- 故障でない場合もありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。
- 処置をしても正常に動作しない場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはパラテクノコールセンター（78 ページ参照）まで修理をご依頼ください。
- 地震・火災・水害などで被災したベッドは販売店またはパラテクノコールセンター（78 ページ参照）まで点検・修理をご依頼ください。漏電による感電や異常動作によってけがをするおそれがあります。
- 下記以外のエラーコードが表示される場合は、パラテクノコールセンター（78 ページ参照）までご連絡ください。

症状		チェック	処置
背の「▲」ボタンなどを押しても、ベッドが動かない。	液晶表示パネルに表示が出ていない	●リモコンの電源が入っていますか？ ●乾電池は入っていますか？	●リモコンの電源ボタンを押してから操作してください。 ●乾電池を入れてください。
	アンテナマークが点滅もしくは消灯している	●ベッドから離れて操作していませんか？ ●IDコードが設定されていますか？ ●ベッドとリモコンの間に障害物はありませんか？	●ベッドに近づいて操作してください。 ●IDコードを設定してください。 ●障害物を取除いてから操作してください。
	受信拒否のマークが点灯している	●受信機が受信拒否に設定されていませんか？	●受信機の受信設定スイッチを ON 側（受信可）に切換えてください。
	メモリーの「▲」ボタンを押してもベッドが水平状態から動かない	●メモリーポジションを水平の位置に設定していませんか？	●背・膝ボトムをあげた状態を設定してください。
ベッドのキャラクターが点滅している		●ベッドの電源プラグがコンセントに入っていますか？	●電源プラグをコンセントに差し込んでください。
電池マークが点灯（点滅）している		●電池の容量が無くなっていませんか？	●電池を新品に交換してください。 ●充電機の場合、充電してください。
ボタンを押しても、ベッドが作動せず、エラーが表示される。	U3、U4	●連続して使用しましたか？ （アクチュエーターが過熱すると、止まる可能性があります）	●約 20 分放置して、アクチュエーターが冷えるのを待ってください。 保護機能が働いたため、故障ではない可能性があります。 （完全に冷える前に操作をすると、再度エラーコードが表示される場合があります。）
	U1	●可動部に障害物はありませんか？	●障害物を取除いてから、ベッドの操作を行ってください。
	H4	●アクチュエーターのコネクターが外れていませんか？	●アクチュエーターのコネクターを差しなおしてください。

16故障かな？と思ったら

リモコンの電源を入れるとエラーが表示される。	U2	●ベッド上で電子治療器などを使用しませんでしたか？	●電子治療器などを使用する場合は、ベッドの電源プラグを抜いてからご使用ください。 通信状態の異常を検知する保護機能が働いたため、故障ではない可能性があります。
	H6	●受信設定スイッチが完全に ON もしくは OFF に切り替わっていますか？	●受信設定スイッチが中間の位置で止まっている場合、表示されることがあります。完全に切り替えてください。
	H7	●リモコンに水などの液体をかけたか？	●スイッチ基板の故障です。 リモコンを交換してください。
●ベッドの動作が止まった後、10秒間ボタンを押し続けると H7 が表示されてしまう。		●ボタンを放して H7 が消える場合は故障ではありません。	
ボタンを押しても、ベッドが動作せず、エラーが表示されない。	—	—	●電源プラグをコンセントから抜き、もう一度コンセントに差し込んでください。再度電源プラグをコンセントに差し込んでもベッドが動かない場合は、リモコンの ID コードを設定しなおしてください。 ●上記の処置を行ってもベッドが作動しない場合は、パラテクノコールセンター（78 ページ参照）までご連絡ください。

●修理のご依頼やお問合せの際は、製品識別表示ラベル（77 ページ参照）に表示された番号もあわせてご連絡ください。

17 長期間使用しない場合と移動（移設）について

長期間使用しない場合



●お子様のいたずらなどによる予期せぬ事故や不具合を未然に予防するため、ベッドの電源プラグはコンセントから抜いてください。

- 高温、湿気、ほこりの多い場所を避けてください。
- 「頭」「背」「足」「高」をリモコン操作で最低位置までさげてください。
- マットレスの上にものを載せたままにしないでください。マットレスが変形するおそれがあります。
- ベッドは壁に立てかけたりせず、ゆかに水平のまま保管してください。
- リモコンは電池を取外して、大切に保管してください。
- 取扱説明書を紛失しないよう、ベッドと一緒に保管してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いて、電源コードをはさんだり踏んだりしない場所に束ねておいてください。

※使用を再開される場合は、63～67ページの手順に従って点検を行ってください。

また、時刻がリセットされていますので、時刻の再設定を行ってください。(25ページ参照)

移動（移設）



●ボトムやボード、サイドフレーム、エンドフレームを持って移動すると、ベッドが落下し、けがをするおそれがあります。ベッドは分解してから移動してください。

- ベッドの分解、組立ては必ず販売店にご依頼ください。

ワイドシングル						
型番	RW-7400F	RW-7400W	RW-7400B	RW-7411Y	RW-7421R	
全幅×全長 (cm)	128 × 223 (ボードなし)	128 × 223 (ボード幅 120)		134 × 220 (ボード幅 138)		
製品質量 (kg)	約 129	約 136.5		約 141.5		
シングル						
型番	RS-7400F	RS-7400W	RS-7400B	RS-7411Y	RS-7421R	
全幅×全長 (cm)	108 × 223 (ボードなし)	108 × 223 (ボード幅 100)		114 × 220 (ボード幅 118)		
製品質量 (kg)	約 122.5	約 129.5		約 134.5		
床高	28 ~ 48cm (ゆかからボトム上面まで)					
主な材質および表面処理 ベッド本体	ボトム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ (一部樹脂成形品)				
	駆動部	スチール製…電着・粉体・メラミン塗装仕上げ (一部樹脂成形品)				
	台車	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ (一部樹脂成形品)				
	フレーム	アルミ			スチール製…電着・粉体塗装仕上げ (一部樹脂成形品・天然木突板張り)	
	ボード	—	PVC レザー張り (ホワイト)	PVC レザー張り (ブラック)	天然木突板張り (イエロー)	天然木突板張り (レッド)
最大使用者体重	135kg					
安全使用荷重※	1700N(174kgf)					
頭あげ	傾斜角度	0 ~ 約 30° (無段階)				
	昇降時間	約 15 秒				
背あげ	傾斜角度	0 ~ 約 75° (無段階)				
	昇降時間	約 30 秒 (普通) / 約 20 秒 (速い)				
膝あげ	傾斜角度	0 ~ 約 30° (無段階)				
	昇降時間	約 25 秒				
高さ調節	昇降距離	約 20cm (無段階)				
	昇降時間	約 23 秒				
モーター	形式	DC モーター				
	最大連続使用時間	約 5 分				
電源	AC100V、50 / 60Hz					
定格消費電力	190W					
電源コード長さ	有効長さ約 200cm					

※安全使用荷重：ベッドを安全に使用できる荷重。(使用者体重とマットレス、オプションなどの付帯物の合計荷重)

リモコン

表示部	バックライト付液晶パネル	
ボタン部	電源ボタン	1 ボタン (バックライト付)
	操作ボタン	10 ボタン (バックライト付)
	機能設定ボタン	4 ボタン
無線部	技術基準	ARIB STD-T66
	電波形式	F1D
	無線周波数帯	2400MHz から 2483.5MHz の任意の 2 波
	通信距離	ベッド周辺：20m 付近まで ※通信距離は環境条件により変化します。
時計機能	誤差± 3 秒/日 (但し、温度変動および経年変動による誤差は除く)	
電池	単三型電池 連続使用時間 (アルカリ乾電池)：1 日 3 分間使用した場合～約 1.5 年 (常温、新品の場合) ※使用条件により異なります。	
質量	160g (電池含まず)	
寸法 (cm)	22 × 4.8 × 3.1	

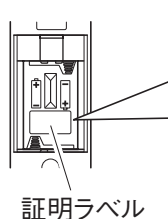
リモコンおよび受信機 (無線局) について / 他の無線局との混信防止について

リモコンおよび受信機の使用する周波数帯域では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局) 並びにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。

- ① このリモコンおよび受信機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万一、このリモコンおよび受信機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかにベッドの使用を停止して、販売店またはパラテクノコールセンター (78 ページ参照) までご連絡いただき、混信防止のための処置など (たとえばパーティションの設置など) についてご相談ください。
- ③ そのほか、このリモコンおよび受信機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合などでお困りの場合は、販売店またはパラテクノコールセンター (78 ページ参照) までご相談ください。

現品表示

リモコン
電池格納部



① ② ③
2.4 XX 2

④
現品表示
(受信機の上面にもラベルがあります)

各記号の意味は以下のとおりです。

- ① 2.4：2.4GHz帯の電波を使用しています。
- ② XX：変調方式は狭帯域変調方式です。
- ③ 2：想定される与干渉距離は20mです。
- ④ バー記号：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可です。

上記の説明は ARIB STD-T66 によるものです。詳細については販売店またはパラテクノコールセンター (78 ページ参照) までお問い合わせください。

19アフターサービスについて

1. 保証書

保証書は必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入が無い場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

2. 修理を依頼される時

取扱説明書の「16. 故障かな?と思ったら」(72～73ページ参照)に従って調べてください。それでも直らないときは、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社製品の修理受付窓口である、パラテクノコールセンター(78ページ参照)までご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号(下記参照)
- お買い上げ日
- 故障、または異常の内容(できるだけ詳しく)
- お名前、ご住所および電話番号

品番・品名

取扱説明書

保証書対応

7000シリーズ

7000SFP 7000SDF 7000SDF 7000SDF

7000

パラマウントベッド株式会社

S7400K・・・0011K

1903001 00001

QRコード

定格電圧 AC-100V

定格周波数 50/60Hz

定格消費電力 190W

こちらを頭側にしてください

保証書

INTIME

お名前のお買い上げ日、販売店名、お買い上げ日、製品識別表示ラベルの番号を記入してください。

保証期間: 1年間

保証対象: ベッド本体

お名前	お買い上げ日	年	月
ご住所	販売店名	住所	番

保証規定

- 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常かつ適切な使用に起因する場合は、無償で修理いたします。
- お買い上げ日より、保証期間内で修理は行いません。
- ①保証期間内にあるが、保証期間外に修理が必要な場合は、修理費用はお客様負担です。②保証期間外にあるが、保証期間内に修理が必要な場合は、修理費用はお客様負担です。
- ③保証期間内に修理が必要な場合は、修理費用はお客様負担です。④保証期間外にあるが、保証期間内に修理が必要な場合は、修理費用はお客様負担です。
- ⑤保証期間内に修理が必要な場合は、修理費用はお客様負担です。⑥保証期間外にあるが、保証期間内に修理が必要な場合は、修理費用はお客様負担です。
- ⑦保証期間内に修理が必要な場合は、修理費用はお客様負担です。⑧保証期間外にあるが、保証期間内に修理が必要な場合は、修理費用はお客様負担です。

※この保証書は、日本国内でのみ有効です。海外では保証書が、保証書が異なるため有効ではありません。

* This warranty is valid only in Japan.

7F06171400A3

製造元 パラマウントベッド株式会社

〒108-8501 東京都港区赤坂1-1-1 赤坂パークビル5F

パラテクノコールセンター 03-5454-8009

保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。

ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

3. 部品の最低保有年数は

弊社ではこのベッドの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打切後8年としております。

4. アフターサービスについてご不明な場合

お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター ☎ 0120-54-8639

受付時間 9:00 ~ 17:20 (夏季休業・年末年始休業を除く)

【パラテクノ株式会社について】弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

〈パラマウントベッド株式会社 直営店〉

スマートスリープストア東京	〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目6番1号三井住友海上テプコビル1階	☎ (03)5250-1515 (代)
スマートスリープストア札幌	〒060-0062 札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎ (011)219-8800 (代)
スマートスリープストア名古屋	〒461-0001 名古屋市中区泉1丁目20番17号	☎ (052)963-6800 (代)
スマートスリープストア大阪	〒541-0052 大阪府中央区安土町3丁目5番12号御堂筋安土町ビル1階	☎ (06)6267-5211 (代)
スマートスリープストア福岡	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎ (092)461-0666 (代)

〈パラマウントベッド株式会社〉

本社	〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号 東京営業部	☎ (03)3648-1171 (代)
札幌支店	〒060-0062 札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎ (011)271-1181 (代)
仙台支店	〒980-0013 仙台市青葉区花京院2丁目1番65号 花京院プラザ4階	☎ (022)217-7311 (代)
さいたま支店	〒338-0001 さいたま市中央区上落合9丁目4番7号	☎ (048)852-0707 (代)
横浜支店	〒194-0004 東京都町田市鶴間1715番地1	☎ (042)795-8800 (代)
名古屋支店	〒461-0001 名古屋市中区泉1丁目20番17号	☎ (052)963-0600 (代)
大阪支店	〒550-0001 大阪府西区土佐堀2丁目3番33号	☎ (06)6443-8791 (代)
広島支店	〒733-0011 広島市西区横川町3丁目8番5号	☎ (082)293-1311 (代)
福岡支店	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎ (092)461-1131 (代)

INTIME

Produced by
PARAMOUNT BED